

東京歯科大学同窓会会報 第373号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
お知らせ	2
会 務	3～8
東京歯科大学 創立120周年記念事業	9～10
理事会のうごき	11～12
庶務日誌	12
保 険	13～14
学 術	15～18
母校だより	19～22
追 悼	23～24
支部のうごき	25～31
ふるさと自慢	32
クラス会だより	33～37
OB会・グループ・サークルだより	38～40
すいどうばし	41～43
逝去会員	43～44
へんしゅうこうき	45
平成21年度評議員会・第115回定時総会報告	46～73

(表紙 野村 淳)

---

セピア色の写真館 ～思い出の一枚（柔道部）～



写真上 昭和32年7月11日より1週間合宿（養正館金子道場）後列右3人目故金子雅英  
写真下 柔道部部长故大内英夫（矯正）先生を囲んで



故 平井先生(英語)の金子道場訪問



下段左より 千葉, 長井, 上村, 金子(兄),  
中段左より 金子(弟), 中根, 高梨, 上段左より伊藤, 後藤

柔道部の創立は定かではないが、昭和12年卒の押見宏先生(92歳)の故松崎邦夫先生への追悼文(同窓会報367号:2008年12月)によると昭和11年にまで遡る。押見先輩の思い出記には専門学校4年時に強い部員に恵まれ医歯薬リーグ戦優勝を目差した。学校近くの下宿屋を合宿所として、柔道着姿で目と鼻の先にあった講道館道場(現後樂園の一角)に、共に講道館二段の故松村先輩、押見先輩等が通い、見ず知らずの相手と猛稽古をし、その甲斐あって念願のリーグ優勝を成し遂げた。柔道部監督は警視庁柔道指導部長の関根六段、選手は故三浦清(主将)、故松崎邦夫、故玉置正知と押見先輩等で母校中央ホールで記念撮影をしたそうである。

昭和30年私が入学した当時は部らしいものはなく、亡兄金子雅英(昭和29年卒)が昭和27年東歯在学中当時四段で生家の裏庭に町道場(岩槻)を開設した関係で同好の士が集



他流試合(於 岩槻高校正門前)

まり部を結成し毎年医歯薬リーグ戦に参加した。大阪歯科大学との定期戦も開催されていた。

合宿は昭和32年より養正館金子道場で毎夏行われた。この道場の道場開きには故三船久蔵十段にお越しただき養正館金子道場と命名され揮毫も頂戴した。合宿の思い出は種々あるがその中でも同期の岡本光生君と金子道場の師範乗橋荒夫六段との激しい稽古は今でも語り草になっている。又近くの銭湯では番台のおばさんに、どこの飯場に来ているのですかと聞かれ苦笑した。筋骨隆々の若者達を目の当たりして思わず発した言葉だった。日頃の練習は飯田穎男六段(教育大)紹介の町道場(両国)で行われ、部長は矯正の故大内先生でした。全日本歯科医師柔道連



試合前右端 師範 飯田穎男六段

盟の結成は故金子雅英八段が中心となって平成3年8月1日福岡で発足し、第1回大会は平成4年7月21日に東京都武道館を初めとし、今年第18回は8月8日埼玉県立武道館で開催された。今後も佐野教授を部長に山滋OB会幹事を中心として盛り立てたいと思う。

(昭和36年卒 金子 弘)



第13回(平成16年8月7日)オールデンタル戦出場 於 講道館  
後列右端 故金子雅英 OB 会長 左端 山滋 OB 会幹事

## 頼もしい メンバーと共に……



学術担当常任理事

宮 地 建 夫

【われわれ歯科医師に対するプロフェッショナルとしての社会的要請は不断の学習と陶冶を求めておりそれに対応する生涯教育即ち卒後研修のあり方は歯科医療をめぐる諸問題のなかでも重要な課題となりつつあります。そのなかで同窓会活動の一環としての学術部事業のすすめ方も検討が要する時が来ました】

TDC 卒後研修セミナーの始まりを告げる当時の学術

担当の書かれた一節です。34年前になります。しかし「学術部事業のすすめ方を検討する時が来た」というその時は“今”を指しているように思えてなりません。73年中東戦争・オイルショック、米国のウォーターゲート事件。74年公害問題を取り上げた有吉佐和子氏の「複合汚染」。75年ベトナム戦争終結という社会背景のなかで「卒研」はスタートします。

「総合的視点に立った歯科診療」「たて糸・よこ糸論」という考え方の柱は要素の複雑な絡みという意味で複合汚染やベトナム戦争と共通していました。その翌年「歯の110番」で歯科は社会的な批判に曝され、ロッキード事件によって田中角栄前首相が逮捕されます。そうした背景からか“卒研”の年間テーマは「信頼の歯科医療」「社会との調和」をうたい、まさに「学習と陶冶」の両面から系統的・総合的な課題に取り組みます。

80年代は患者の意識革命の波が米国から押し寄せてきました。それが“卒研”の視点と一致したこともあって実に400人以上の受講者参加でにぎわいます。しかし90年代に入りバブル崩壊で事情は一変し、5年後に受講者半減、97年から経団連ホールからの撤退は“卒研”のスタイルを根本的に変えざるを得なくなります。

少人数ディスカッション、実技研修を取り入れ、対象も比較的若手よりにシフトしました。この方向転換は好評でセミナーによってはキャンセル待ちがでるほどですが、チュートリアルや実技研修では学術委員に加わる負担は膨大で、しかも委員の質や精神的なタフさが要求されます。そのため内部研修が必須で現在でも繰り返し続けられています。

21世紀の今日100年に一度の世界経済危機です、“卒研”の歩んだ経緯からみて、間違いなく今、新たな試練と向かい合っています。加えて臨床研修医制度によって初期研修の場が流動的になり、同窓意識の希薄な若手が増えているようです。そうした心配ごとを前に「学術部事業のすすめ方を検討する時が来た」という34年前の先輩の言葉が私たちの耳元で聞こえてくるわけです。

しかし実はそれほどは心配しておりません、セミナー運営の間隙をぬって、学術事業の将来像を常に内部課題として積み上げています。学術部委員会は頼もしいメンバーです。むしろそのことをこの場をお借りして会員の皆様にお伝えしたかったのです。

# お知らせ

## 理事会より

- 大山執行部も2年の任期を残すところあと僅かとなってまいりました。この間に金融危機に端を発した世界的な経済恐慌と景気の急速な悪化を招き、このような社会・経済情勢の中で、我々同窓会にも発想の転換、機構改革、無駄の排除といった、大きな改革が必要になってきているのは明らかです。そしてこれは、多くの会員の意見を集約した同窓会会員が丸となって行わなければならないものだと思います。残りの任期をその基盤づくりに努め、来年度の新執行部では、ゆっくり時間を掛けた協議が成されるよう準備したいと考えております。
- 同窓会本部の年末年始のお休みは、平成21年12月29日(火)～平成22年1月4日(月)までです。

## 同窓会事業・行事

### ●第38回全国ゴルフ大会

と き 平成22年9月2日(木)  
ところ 相模原カントリークラブ・西コース

### ●平成22年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会

と き 平成22年11月20日(土) 予定

### ●TDC 卒後研修セミナー2010プログラム

#### 卒研フォーラム

No.1 先達に学ぶ『開業医としての楽しみ』  
3月7日(日)

No.5 『安全で確実なインプラントをするために』  
～知っておきたい知識と手技～  
7月10日(土)・11日(日)

#### 卒研セミナー

No.2 『根管処置の経過不良を考える』  
～そのメカニズム～ 4月25日(日)

No.6 『SPT の実際』  
～エビデンスに基づいたメンテナンスとは?～ 9月12日(日)

No.3 はじめの一步『口腔内から何を讀み、何を考えるか』  
～診断のプロセスを学ぼう～  
5月16日(日)

No.7 『咬合育成の基礎と臨床』  
～床矯正装置入門～ 10月17日(日)

No.4 『歯の審美的回復』  
～レジンドイレクトフィリングとホワイトニング～  
6月13日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部  
Tel. 03-5275-1761

## 母校関係行事・案内

### ●母校120周年記念行事

詳細は9ページ参照

創立120周年記念学術講演会  
と き 平成22年5月8日(土)、9日(日)  
ところ 東京国際フォーラム

創立120周年記念式典・記念講演・記念祝賀会  
と き 平成22年5月22日(土)  
ところ 帝国ホテル本館 孔雀東西の間

## 平成21年度評議員会 第115回定時総会報告 —評議員会にて大山萬夫会長を再任—

平成21年度評議員会は、平成20年11月22日(土)午前10時から、如水会館において開催された。関 泰忠専務理事の司会のもと、江崎梅太郎副会長の開会の辞で評議員会は始まった。点呼は受付の署名簿をもって替え、評議員総数155名中、出席113名(10時現在)で会議は成立した。

大山萬夫会長の挨拶は、別掲の通りである。次に関専務理事より来賓の紹介があり、来賓を代表して熱田俊之助理事長、金子 讓学長よりご挨拶をいただいた。その要旨は別記の通りである。

### 議長・副議長の選出

司会者の一任となり、議長に八南支部・池田恒彦評議員、副議長に、横浜中央支部・加藤木 健評議員が選出された。議事録署名人名には川崎支部・飯田涼二評議員、小石川支部・稲田勝紀評議員が議長より指名された。

### 報告

報告に先立ち、代理出席者の承認が諮られ承認された。次いで118名の物故会員に対して全員黙祷を捧げた。平成21年度会務報告、厚生部報告、旅費規程の変更についてが関専務理事より、次いで高橋義一会計担当理事から平成21年度会計現況報告がなされ審議の結果承認された。

### (東京歯科大学の現況報告)

金子学長と井出副学長から大学の現況報告が行われた。

### 金子学長報告

現在の教育改革は第2の高等教育改革の傘下にある。護送船団方式の運営から競争環境の大学運営に変

わっている。そのような大学環境の変化の中で考えられた東京歯科大学将来構想と大学運営について説明された。

### 井出副学長報告

教育の現況と移転について井出副学長から説明があった。

摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科やインプラント実習・講義という新しい授業、歯科医師国家試験の現状などについて話された。

また移転に関しては、水道橋校舎は来週から基本設計に入る段階にあり、千葉校舎に比べコンパクトな設計になる予定ということである。

さいかち坂校舎は2012年4月開校の予定。続いてリパーク跡地にはその1年後に開校の予定ということである。

また TDC ビルの三崎神社側の土地も買収を進めており、水道橋校舎隣接ビルになるということであった。

(事前質問について)



昨年と同様に各評議員には評議員会資料と伴に議事進行を円滑に行うため事前質問用紙が同封され、事前に質問をお願いした。

1) 板橋支部・森岡俊介評議員より  
①本会会員種別について、②本会と地域支部連合及び支部との関係について質問があった。また同様の質問が富山県支部・金川直博評議員からも提出された。

関 ①について来年度は会員の声を多く取り入れた作業部会をつくり、しっかりとした協議をして決定するべきと考えている。②では地域支部連合会は同窓会の組織構造として地域格差を生じている。今後地域事情も考慮した上で検討していく。



2) 横浜南部支部・玉井達人評議員からは評議員改革、評議員の削減において支部会員の一人一人の考えが反映される機構をつくって欲しいとの要望があった。また大学移転の協力に関して「最初に寄付ありき」ということではないようにしてほしい。

**関** 大学への協力は同窓会として最重要項目と考えている。今後とも大学と協議し最善の方策がとれるようにしたい。また寄付金の使用目的は血脇記念ホールへの建設資金であり使用目的がわかる寄付であることを強調して同窓の理解を求めたい。

3) 愛知県支部・牧野健司評議員からは第7号議案地域支部連合会の総会開催回数の質問があった。

**関** 地域支部連合会の現状は地域性に見合った運営がなされている。地域の意見を聞きながら協議していきたい。また今回の改正は支部連合総会は必ず年1回開催せねばならないということを地域事情によってお考えいただき、規定はしないとするものである。

4) 千葉県支部・曾我部 勉評議員より共済の申請に関して質問があった。

**関** 支部長必携には申請後最初の2年は延期、以後再申請により免除に移行するような取扱になっている。現状では延期申請の後免除申請がなされずに延期状態が続いている会員も少なくない。今後は本部から申請状況について注意しその改善を図りたい。

## 議 事

第1号から第5号議案までの平成20年度決算関係の議案が一括上程され、高橋理事ならびに中島理事より議案の説明があり、浅野薫之常任監事が監査の結果を報告した。質疑の後、第1号より第5号までの議案が原案通り可決承認された。第6号議

案は中島理事より議案の説明があり、原案通り第6号議案が可決承認された。第7号(会則一部変更)、第8号議案(共済規定一部変更)は中島理事より議案の説明があり、質問を受け採決が行われた。審議の結果執行部案通り可決承認された。第9号より第12号議案までは一括上程され、関専務理事、高橋理事より議案の説明があり、各号に質問を受け逐次採決が行われ第9号より第12号議案まで原案通り可決承認された。第13号から第16号議案は一括上程され審議され可決承認された。第17号議案役員改選は、会場内より大山会長を推薦する声があり次期会長に大山萬夫現会長が引き続き選出された。また同様に常任監事に浅野薫之現監事、監事に原 武仁現監事が再度選ばれた。また大学支部の柳澤孝彰評議員が監事に新たに選出された。

## 協 議

関専務より協議事項についての説明がなされた。「同窓会とは歯科医師を志し、同じ学び舎で研鑽を積み育った者たちが、年代や性別を越えて集い、先輩を敬愛し後輩を愛おしみ、広い意味で信頼と友情を深める場、または深めた結果の場である。」このような精神のもと現在の同窓会組織構造や事業が生まれ運営されている。同窓会の組織構造や運営方法については私たちを取り囲む社会状況を配慮し柔軟かつ的確に対応するべきと考えている。現在のこの状況で現状維持では将来がない。早急な対応が必要と考えている。そこで資料「同窓会改革に向けての提案」を送り同窓会の改革の提案をさせていただいた。その内容は、

### ①同窓会組織構造のスリム化

支部、地域支部連合会、本部のピラミッド構造の構築であり、それに伴うネットワークの構築、本部の機構改革、評議員定数改正が

問題になる。

### ②母校との相互信頼と連携強化

### ③次世代の育成

これらのことから5つの改革案を提案した。活発なご意見を賜りたい。

会場からは次のような意見が出された。

1) 若い同窓生の意見が反映される会であってほしい。その機構をつくるべきだ。また大学を卒業した若い人たちに対する同窓会の把握ができていないのではないだろうか。

2) 同窓生が開業するときになにも手伝わなくて、同窓会には入れないといけない。若い先生をサポートする体制ができていないのではないだろうか。



熊本では夏休みに学生が帰った時にと酒を飲み交流している。先輩と後輩の繋がりを強くするべき。

3) 学術ではシニアを中心とした講演会を行って欲しい。



4) このような同窓会改革の問題に対しては、総合的な委員会を立ち上げ検討するべきである。

5) 評議員の定数について、支部の統廃合は本部では積極的に行わないとしているが、牛込では15名のうち

12名が終身会員である。活動が立ち行かなくなってきた面もある。本部主導で支部の統廃合を行うべきではないか。

県歯の会長、日歯役員等は評議員とするよりも嘱託等にするべきではないか。

6) 地域支部連合会、支部での協議題を知りたい。本部から協議題を出すことも必要ではないか。

7) 地域支部連合会、地域理事、支部の形はどのようにするべきなのか議論してほしい。

これまで支部の統廃合の例はあまりないと聞いている。やはり本部主導で統廃合は行うべきである。

8) 長野では支部を一つにすることはできても会員が集まることは難しい。やはり各支部に任せるべきであるし、地域支部連合会に権限を持たせるべきではない。

9) 東京歯科大学緊急時歯科医師委嘱制度についてどのような検討が行われているのか。

**野上常任理事** 緊急時歯科医師以来の方法、依頼発生とその後の流れ、委嘱依頼書、緊急時委嘱歯科医師募集要項などの検討を行っている。

10) 同窓会は会員がありがたいと

思える会になってもらいたい。緊急時委嘱制度に賛成である。

### 平成21年度叙勲・褒章受章者の 顕彰式ならびに同窓会会長賞表彰式

中島理事より平成21年度に叙勲・褒章を受章した6名の紹介があり、大山会長より顕彰状と記念品が伝授された。代表して町田名誉教授より謝辞が述べられた。

次に第4回同窓会会長賞表彰式に移り、最優秀賞に國分克寿氏、優秀賞に久保浩太郎氏、塩谷宗大氏の3



名にそれぞれ大山会長より表彰状と金一封が伝授された。服部玄門副会長の閉会の辞で本年度の評議員会は終了した。

### 第114回同窓会定時総会

第115回定時総会は関専務理事司会のもと柳 清二副会長の開会の辞で始まり、会長挨拶の後、議長に加藤木 健会員を選出、また議事録署名人に有近徳幸会員、北村 一会

員が指名され総会が進められた。まず関専務理事より平成21年度会務報告、池田恒彦評議員会議長より評議員会報告、高橋理事より平成22年度予算関係の報告があり承認された。議事に入り、平成20年度決算関係並びに財産目録の6議案提案の後、原武仁監事の監査報告がありそれぞれ審議され承認可決した。



片倉恵男副会長の閉会の辞では「疾風知勁草」の言葉を示し、強い意志を持って東京歯科大の発展のため同窓が一丸となることを願い総会は終了となった。

総会終了後の懇親会には川口 浩衆議院議員(昭和54年卒)を迎え、また会長賞優秀賞の塩谷氏も出席し若い先生の問題などを話された。多数の同窓が出席し和やかな雰囲気の内にと終了した。



## 評議員会挨拶

### 大山会長挨拶要旨



地区の支部ならびに地域支部連合会総会に出席させて頂いた際には地区の問題のご進言をいただき感謝している。これから会の運営に反映させていきたい。各地区で会員特に若

い人が少なくなってきたと指摘を受けている。このような問題をいかに解決するか、3月から事業等特別委員会を立ち上げた。

同窓会を足腰の強い経済的基盤のしっかりとしたものにしなければ今後先細りになると感じる。

また日歯や地区の歯科医師会での同窓のトップとしての活躍が以前より少なくなっているのではと危惧し若い人たちを育てていかなければいけないという声も聞こえてくる。そのような意見に答えようとした結果が事業等特別委員会で答申された内容である。今日の協議題として提出

しているので皆様にご検討いただきたい。その上で栄光ある東京歯科大学同窓会として是非新たなる体制で進みたいと考えている。

大学の移転については大学にお聞きしたところ十分に検討をされ適切に対応されている。また来年には水道橋各新校舎の基本設計が出来、予算が出るかと聞いている。応分の寄付をお願いするということである。その節には我々東京歯科大学同窓会として恥ずかしくない対応とご協力をしたい。

### 熱田理事長挨拶要旨



今回の衆議院議員選挙では北関東ブロック比例区から昭和54年卒の川口 浩先生(民主党)が当選した。東京歯科大学の多数の同窓がこれまで国政で活躍されてきたが、非常に

おめでたいことで、歯科界発展のためご活躍を期待する。

移転に関しては昨年3月末法人理事会、評議員会において千葉から水道橋に全面的に移転すると決定された。私も理事長に就任しこの決議を踏襲することを申し上げている。ただし時局にあわせて進めるべきで、一部変更もありうるべきである。

現在順調に移転計画は進んでいる。このような移転計画の進展は、大学の各機関の合意を得て進めていることをご承知おきいただきたい。

先月19日法人の理事会において移転の基本計画に則って2か所の土地に建設することを決定した。これから井出建設担当常務理事を中心に基本設計に入っていくことになる。

大学と同窓会の関係は従来になく緊密になっている。大山会長を私は大変信頼している。意見を同窓会を通じて寄せていただきたい。

法人は従来の基本計画に則り移転を推進していく。大学に対するご支援ご協力をお願いする。

### 金子学長挨拶要旨

#### 大学の現状

歯科大学の受験者総数は現在激減している。これは歯科医師の医療収入の低減が原因である。

日本経済はそう簡単に回復しない。今後の学生の募集において大きな課題は学納金の減額である。これが財務上で大変大きな問題となる。

一方すでに文科省からの要請で国

立大学は10%の定員削減をのみ、次に私立歯科大学協会が定員減を迫られることになる。歯科医療、歯科学に好結果を及ぼすならば、私どもは骨を削り、血を流しながら、やらなければいけないと思っている。

このような問題が現状では学務運営の上で課題となっている。



## 第4回東京歯科大学同窓会会長賞について

第4回目となる東京歯科大学同窓会会長賞の募集及び選考については、第588回大学院研究科委員会(平成21年7月15日開催)において講座・研究室主任を通じ学内に広報された。多くの対象者の中から4名が候補に挙がり、大学院研究科長を選考委員長とした選考委員会において厳正に審査された結果、3名(最優秀賞1名、優秀賞2名)を選出。第590回大学院研究科委員会(平成21年10月7日開催)の了承を得て、同窓会に推薦された。同窓会理事会の決定により第4回受賞者は下記の3名となり、同窓会評議員会(平成21年11月28日開催)にて表彰された。なお、3名とも大学院終了後も大学に籍を置き、後進の指導にあたっている。

### 東京歯科大学同窓会会長賞について

東京歯科大学同窓会が創立110周年を記念して母校の人材育成に寄与することを目的として平成17年に創設したものである。本賞は、本学大学院歯学研究科において、優秀な成績で課程を修了したものに対して授与するものである。なお副賞として金一封が贈られる。

### 第4回東京歯科大学同窓会会長賞

#### ○最優秀賞(1名)

臨床検査学研究室 國分 克寿(平成20年9月修了)

#### ○優秀賞(2名)

歯科麻酔学講座 久保浩太郎(平成18年3月修了)  
口腔超微構造学講座 塩谷 宗大(平成20年3月修了)

### 臨床検査学研究室 國分 克寿 (平成20年9月修了)

論文名：Motif-programmed artificial extracellular matrix

モチーフ・プログラムド人工細胞外マトリックス

雑誌名：Biomacromolecules (9(11): 2008, 3098~3105)



チタンインプラントの生体親和性を高めるために、インプラント周囲組織に対して最適なチタン表面の微小環境を形成する必要がある。しかしながら、現状ではチタン表面の粗さを変えるという物理的手法による形状改質が大半であり、生物学的手法による微小環境形成は十分に応用できていないのが現状である。本論文ではこういった現状を打破すべく、モチーフ・プログラミングによる機能性人工タンパク質の創出と無機材料結合ペプチドというバイオテクノロジーの最先端の技術を取り入れることで、全く新しい生物学的チタン表面改質法の開発を目指した。

実験ではまず、チタン結合ペプチドモチーフであるTBP-1と細胞接着モチーフであるRGDを材料にし、モチーフ・プログラムド人工タンパク質創出手法を用いてコンビナトリアルに組み合わせ、モチーフをいろいろな数、いろいろな順番でもつ人工タンパク質を複数作製した。作製した人工タンパク質のチタン表面への結合能

はQCMで評価した。その結果、作製した人工タンパク質がチタン表面へ結合していることを確認した。次にチタン板上にタンパク質をコートした状態で細胞接着アッセイを行ったところ、人工タンパク質が細胞接着性タンパク質であるフィブロネクチン以上の細胞接着能を持つことが分かった。接着細胞における蛍光抗体法による観察においては、人工タンパク質上ではよく発達したストレスファイバーと接着斑が観察された。また、ウエスタンブロッティング法により接着斑の形成に関わるFAKのリン酸化状態を調べたところ、人工タンパク質上ではFAKが強くリン酸化されていることが分かった。以上の結果から、作製した人工タンパク質は、チタン結合能と細胞接着能を持つことが確認できた。本研究で確立した手法をさらに発展させることにより、細胞接着以外の生物活性を持つモチーフをチタン結合モチーフと組み合わせることで、チタン表面の様々な生物学的改質を行えるようになった。

歯科麻酔学講座 久保 浩太郎 (平成18年3月修了)

論文名：Cortical Representation Area of Human Dental Pulp  
 ヒト大脳皮質一次体性感覚野象牙質-歯髓再現領域の解明  
 雑誌名：Journal of Dental Research (87(4)：2008, 358～362)



ヒト一次体性感覚野における歯髓感覚再現領域を、脳磁図計を用いて非侵襲的に高空間・時間解像度で解析し、感覚のホムンクルスにおける歯髓領域を明らかにすることを目的とした。7人の健康成人から、上顎右側第一小臼歯の歯髓に非痛み刺激を与えた際の体性感覚誘発脳磁場応答を記録した。上顎第一小臼歯へ痛みを伴わない電気刺激を行うと、刺激後約27msの潜時を持つ体性感覚誘発脳磁場応答(1M応答)が記録された。ヒトの口腔顔面領域皮膚への電気刺激後の体性感覚誘発脳磁場応答の潜時は約20-30msと報告されておりAβニューロン活動による触覚をコードする感覚ニューロンの大脳

皮質一次体性感覚野投射を反映することが知られている。従って、歯髓への非痛み刺激によって誘発される潜時27msの1M応答は、歯髓内Aβニューロンの投射によって誘発される皮質ニューロン応答である事が示された。1M応答を発生させる等価電流双極子(電流源)局在は、中心後回における一次体性感覚野手指再現領域と比較して前下外方に位置していた。これらの結果は、ヒト歯髓内にAβニューロンが存在する事を示し、また、一次体性感覚野における歯髓象牙質感覚再現領域を明らかにした。

口腔超微構造学講座 塩谷 宗大 (平成20年3月修了)

論文名：Ultrastructural study of tissues surrounding replanted teeth and dental implants  
 再植歯とインプラント体周囲組織の超微構造的研究  
 雑誌名：Clinical oral implants research (20(3)：2009, 299～305)



歯と歯肉上皮はエナメル質と接合上皮との界面に形成された接着装置、すなわち内側基板とヘミデスモゾームによって結合することで歯周組織は保護されている(上皮性封鎖)。失われた歯に対して歯牙再植術やインプラント植立術が行われるが、このとき破壊された接着装置が術後どのように再構築されるのか、その詳細は十分に解明されていない。本研究は「再植歯-歯肉上皮」ならびに「インプラント-周囲組織」の界面における経時的治癒変化を微細構造学的に検討したものである。

再生と接着装置の再構築には再植歯エナメル質表面に付着残存していた基板の関与が示唆された。

再植群はラット上顎臼歯を抜去直後に同抜歯窩へ再植を施した。インプラント群では抜歯直後に純チタンインプラントを抜歯窩に植立した。一定期間を経過させた後、光学顕微鏡および電子顕微鏡を用いて観察した。

インプラント術後8週例では接合上皮の再生はみられず、代わりに歯肉溝上皮がインプラントを被覆していた。界面には内側基板とヘミデスモゾームを欠如していた。上皮層の下には上皮様配列を呈する特殊な結合組織細胞層が出現しインプラント側面の広い範囲に密接していた。この細胞層の周りを線維芽細胞と、良く発達したコラーゲン線維束が配列しており、これらが上皮様細胞層と協調してインプラントの維持と保全に寄与するものと推測された。

再植後4週例では、再植歯は既存の歯肉溝上皮から増殖、分化した接合上皮によって被覆された。上皮細胞とエナメル質との界面にはヘミデスモゾームと、この細胞が新たに産生した内側基板が認められた。接合上皮の

結論として、再植歯では上皮性封鎖の獲得が比較的容易であること、インプラントの上皮性封鎖は再植歯には劣るものの、結合組織性の封鎖が代替的に構築されている可能性が示唆された。以上、インプラント-周囲組織における生物学的封鎖構築機構の一端を明らかにした。

# 東京歯科大学 創立120周年記念事業

## 同窓会会員各位

学校法人東京歯科大学 理事長 熱田 俊之助  
東京歯科大学 学長 金子 讓

## 創立120周年記念式典・記念祝賀会(記念講演を含む)のご案内

平素は母校に対して格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本学は、明治23年(1890年)の高山歯科医学院創立以来、来年(2010年)をもって創立120周年を迎えます。これを記念する諸事業も各位の絶大なご支援のもと順調に準備が進んでおります。

その主行事であります記念式典・記念祝賀会(記念講演を含む)を平成22年5月22日(土)に挙行いたします。各位のご協力を得て120年の歴史にふさわしい記念式典・記念祝賀会(記念講演を含む)といたしたいと存じ、ここにご案内申し上げます。

役員、評議員およびクラス会代表者の皆様には改めて記念式典・記念祝賀会(記念講演を含む)の案内をご送付いたします。なお同窓会会員の皆様には、記念式典に続いて行われます記念講演、記念祝賀会にご参加いただくことといたしますが、会場の都合上希望者全員の参加をいただけないことも予想されますので、あしからずご了承を賜り、次の要領でご参加のご希望を承ることといたしたく、よろしくお願い申し上げます。

### 創立120周年記念祝賀会(記念講演を含む)参加申込要領

1. 日 時 平成22年5月22日(土) 15時30分～19時  
記念講演 15時30分～  
記念祝賀会 17時～
  2. 場 所 帝国ホテル本館2階 孔雀東西の間  
☆記念講演は祝宴開宴前に祝賀会会場にて行い、引き続き祝宴に移ります。
  3. 参加費 2万円
  4. 定 員 300名  
(参加希望者多数の場合は先着順とさせていただきます)
  5. 申込方法等
    - (1) 官製はがきに郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・性別・年齢・本学卒業年月・支部名・クラス会名をご記入の上  
〒261-8502  
千葉県千葉市美浜区真砂1-2-2  
東京歯科大学大学事務局庶務課内  
120周年記念祝賀会参加受付係  
宛に平成22年1月5日(火)から1月29日(金)(必着)までにお申込み下さい。  
なお、電話・FAX・電子メールによる申し込みは受け付けておりませんのでご了承下さい。
    - (2) 同窓会会員本人のみの参加とさせていただきます。
    - (3) 参加希望者が定員を上回った場合は、先着順にて参加者を決定させていただきますのでご了承下さい。
    - (4) (3)の手順により、ご参加いただく方に参加費納入手続きについてのご案内をいたします。参加費納入手続きについてのご案内を受け取られた方は、平成22年3月19日(金)までに参加費を納入して下さい。期限内に参加費を納入いただけない場合は、ご参加の取り消しとさせていただきます。なお納入された参加費は理由の如何にかかわらず返金いたしかねますので予めご了承下さい。
    - (5) 参加費納入の確認後、正式案内状を発送いたします。
    - (6) 同窓会本部役員、評議員およびクラス会代表者につきましては、別途記念式典、記念講演および記念祝賀会に関する案内をご送付いたしますので、この要領での参加申込は必要ありません。
- ※問合せ先  
東京歯科大学大学事務局庶務課  
TEL 043-270-3722

# 東京歯科大学創立120周年記念学術講演会・第289回東京歯科大学学会

期 日：2010（平成22）年5月8日（土），9日（日）

会 場：東京国際フォーラム

東京歯科大学は、明治23年に本邦初の歯科医学教育機関として設立された高山歯科医学院をルーツに持ち、「歯科医師たる前に人間たれ」の建学の精神のもとに、常に我が国における最先端の歯科医学教育・歯科医療を担い、平成22年には創立120周年を迎えます。

この歴史的な記念すべき年に記念行事の1つとして、『継承と発展』をキーワードに記念学術講演会が第289回東京歯科大学学会を兼ねて開催されます。

日程は、平成22年5月8日（土）、9日（日）の2日間で、会場は東京国際フォーラムです。

内容は、下記のプログラムのごとくで、特別講演、国際シンポジウム、国内シンポジウム、公開市民フォーラム、ポスター展示、ランチョンセミナーおよび企業展示等を企画しております。

また、特別企画として写真のごとくウィーン少年合唱団コンサート（有料）が開催されます。是非お誘い合わせのうえご参加ください。多

くの方々のご来場をお待ちしております。

なお、詳細なプログラムは、改めて、送らせていただきます。



## 5月8日（土）

9：00～	口腔科学研究センターシンポジウム 「口腔アンチエイジングによる生体制御」	渋川義宏（東歯大）、阿部伸一（東歯大） 加藤靖浩（東歯大）、石原和幸（東歯大） 松坂賢一（東歯大）
11：00～	基調講演 「歯の再生は可能である」	辻 孝（東京理大・基礎工学）
13：15～	特別講演 「iPS細胞を用いた再生医学研究」	岡野栄之（慶大・医）
15：00～	国際シンポジウム 「40年を迎えたインプラントの光と影」	J A Jansen（ナイメヘン大） R Mericske-Stern（ベルン大） 武田孝之（東歯大）

## 5月9日（日）

9：00～	国内シンポジウム 「食に関わる口腔機能」	笹野高嗣（東北大）、杉谷博士（日大松戸）、 川野 仁（都神経研）、渋川義幸（東歯大）
13：00～	ウィーン少年合唱団コンサート（90分） 入場料（S席：5,000円、A席：4,000円） 先行販売：1月5日（火）～（予定）	販売元：ローソンチケット 専用 URL <a href="http://1-tike.com/tdc/">http://1-tike.com/tdc/</a> 電話 0570-000-407（オペレーター10：00～20：00） 0570-084-003（自動音声：Lコード32364）
15：00～	市民公開フォーラム 「本当に怖い歯周病！ 歯周病が糖尿病を狙っている」	松岡健平（慶大・医）、西村英紀（広島大）、 デヴィスカルノ夫人（コメンテーター）

# 理事会のうごき

## 第3回理事会

平成21年10月10日(土)午後2時30分

於 特別会議室

出席 31名

議長 大山会長

座長 片倉副会長

### 会長挨拶

8月の臨時理事会で、事業等検討特別委員会からの答申書に基づき評議員会に議案として提出することとしたが、各地区で考え方に温度差があったため今回は協議題とすることを決定した。大きな改革は痛みを伴うものであるが、思い切ってやろうと各委員が時間をかけ検討していただいたものであり、伝統ある同窓会としてプライドを持って臨み、よい結果を出して次の執行部において十分検討していただきたい旨挨拶。

### 黙 禱

平成21年9月3日から本日までに逝去連絡があった6名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告および承認

- 1) 平成21年9月10日から12月21日までの日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務部：①支部学術講演会講師派遣交通費の支出を5件報告。
  - (2) 会計部：①第41回東歯祭に祝い金として25万円支出することを報告。
  - (3) 渉外部：①渉外部委員会で歯科医師会等役職者名簿作成について検討、評議員会に間に合うよう作成中であることを報告。
  - (4) 学術部：①学術部委員会の報告。②東歯学会より母校創立120周年記念の学会講演会へのポスター演題依頼があり2題検討中であることを報告。③卒後研修セミナー報告。11月開催のフォーラムに対する協力依頼等説明、報告。
  - (5) 広報部：①広報部委員会報告。②名簿編集のための確認書返信で支部に関する疑問が多くあり、今後検討を要する旨報告。
  - (6) 厚生部：①厚生部委員会報告。②東京歯科大学同窓会緊急時歯科医師委嘱制度は法律的に問題ない旨

弁護士より回答があったことを報告。③平成21年度逝去会員は10月5日現在で累計96名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。

- (7) 情報部：①情報部委員会報告
- (8) 大学の報告：①入試関係、大学移転等大学の現況を報告。
- (9) その他：①日歯代議員・役員・都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会において、出席者より本部同窓会における医政への対応について種々ご意見を頂いた。取りまとめ次期執行部への引継ぎ事項とすることを報告。②地域支部連合会会長との懇談会において同窓会改革案についての意見を求め、同窓会事業のあり方全般にわたる発言があった。執行部としては、意見を真摯に受け止め今後の協議とすることとした旨報告。③会則等検討委員会答申について、今年度評議員会に向けた最終的な諮問を行い、答申を得たことを報告。

### 各地域選出理事報告

- 1) 戸田理事(北海道)
  - ① 連合会総会開催時の協議内容を報告。
- 2) 岩沼理事(東北)
  - ① 今回台風による被害は無かったことを報告。
- 3) 井原理事(関東)
  - ① 連合会総会時の協議内容を報告。
- 4) 高橋理事(東京)
  - ① 支部長会開催時の協議内容を報告。
- 5) 片桐理事(信越)
  - ① 連合会開催を報告。
- 6) 宮本理事(北陸)
  - ① 連合会総会時の協議内容を報告。②理事会出席に臨み各支部長から意見を求めていることを報告。
  - ② 9月6日東海地域支部連合会総会開催。以上報告。
- 7) 久保田理事(四国)
  - ① 四国地域の連合会総会開催日が毎年他と重複するので、各地で情報を共有できれば申し合わせ調整が出来るのではないか。
- 8) 濱野理事(九州)
  - ① 連合会総会を開催することを報告。

### 協議事項

- 1) 共済負担金納入免除願いについて1件承認。

- 2) 会費，共済負担金納入延期願いについて4件承認。
- 3) 推薦会員退会願いについて2件承認。
- 4) 第4回東京歯科大学同窓会会長賞について大学より推薦された3名を説明，承認。
- 5) 東京歯科大学同窓会緊急時歯科医師委嘱制度について，資料に基づき内容を説明，協議した結果，一部訂

- 正した資料を評議員会に協議題として提出することを承認。
- 6) 平成21年度評議員会における議題，協議題，事業計画，事業予算および当日運営について説明，協議の結果承認。

## 庶務日誌

- |  |  |
|--|--|
| <p>11月</p> <p>1) 理事会</p> <p>11月27日(金) 第4回理事会</p> <p>2) 委員会</p> <p>11月6日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)</p> <p>11日(水) 広報部委員会(会報編集)</p> <p>12日(木) 学術部委員会(研究部委員会)</p> <p>19日(木) 情報部委員会</p> <p>19日(木) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会</p> <p>24日(火) 学術部委員会(運営委員会)</p> <p>30日(月) 学術部委員会(企画会議)</p> <p>30日(月) 保険部委員会</p> <p>3) 出張</p> <p>11月1日(日) 東歯祭 片倉副会長出席</p> <p>7日(土) 六歯科大学歯学部校友会同窓会懇親会</p> <p>14日(土) 全国歯科大学同窓・校友会懇話会<br/>江崎副会長，宮地常任理事，山本常任理事出席</p> <p>14日(土) 山形県支部総会 服部副会長出席<br/>学術講演会 講師・黒田昌彦氏(東京都開業)</p> <p>23日(月) 近畿地域支部連合会総会<br/>神谷副会長，小室理事出席<br/>学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)</p> <p>29日(日) 静岡県支部総会 神谷副会長出席<br/>学術講演会 講師・平井義人氏(元東京歯科大学教授)</p> <p>29日(日) 東信支部総会<br/>学術講演会 講師・山根源之教授(母校)</p> <p>4) 事業</p> <p>11月8日(日) TDC 卒後研修セミナー [卒研フォーラム(No.7 歯科医療の将来へ向けて～国民歯科医療の充実とは～)]</p> <p>28日(土) 平成21年度評議員会・定時総会</p> | <p>12月</p> <p>1) 理事会</p> <p>12月12日(土) 第5回理事会</p> <p>2) 委員会</p> <p>12月2日(水) 広報部委員会(会報企画)</p> <p>7日(月) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会担当者会議(外来環検討委員会)</p> <p>11日(金) 学術部委員会(運営委員会)</p> <p>14日(月) 情報部委員会</p> <p>19日(土) 学術部委員会(全体委員会)</p> <p>21日(月) 学術部委員会(企画会議)</p> <p>22日(火) 学術部委員会(研究部委員会)</p> <p>3) 出張</p> <p>12月5日(土) 山梨県支部総会 片倉副会長出席<br/>学術講演会 講師・関根秀志准教授(母校)</p> <p>5日(土) 熊本県支部総会 江崎副会長出席<br/>学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)</p> <p>5日(土) 茨城県支部総会 関専務理事出席<br/>学術講演会 講師・井上 孝教授(母校)</p> <p>5日(土) 愛媛県支部年末総会<br/>学術講演会 講師・佐藤 亨教授(母校)</p> <p>5日(土) 東京地域支部連合会総会 大山会長出席</p> <p>6日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会<br/>大山会長出席<br/>学術講演会 講師・金子 譲教授(母校)</p> <p>6日(日) 千葉県支部総会 宮地常任理事出席</p> <p>6日(日) 栃木県支部総会 片倉副会長出席<br/>学術講演会 講師・春日文子氏(国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部)</p> <p>6日(日) 愛知県支部総会 神谷副会長出席<br/>学術講演会 講師・橋本雅範氏(愛知県開業)</p> <p>8日(火) 大学支部総会 大山会長出席</p> |
|--|--|

# 保 険

## 「歯科訪問診療を始めるにあたって」

今回は症例検討ではなく、Q & A方式といたしました。

**Q 1.** なぜ訪問診療を行うべきなのですか？

**A 1.** 資料1を御覧下さい。日本の人口構成は30年前と比較にならない程高齢化しています。

特に70歳以上の増加が著しく30歳以下の人口よりも多くなっています。高齢化しているということは在宅の老人も大幅に増加しています。それに比例して訪問診療の需要も増加しています。かつてはとかく対象外となりがちであったこれらの患者層を診療対象としなければ1次医療機関として地域医療を行っているとはいえないことになりかねませんし、何よりも医業収入が先細りとなります。

**Q 2.** 対象となる患者の「寝たきり等」というのが良くわかりませんが？

**A 2.** 寝たきり等というのは厚生労働省の基準では資料2のようになっています。また認知症の基準も同資料を参考にして下さい。2004年の日本歯科医学会の歯科訪問診療における基本的考え方でも「寝たきり状態の者のみならず、心身障害の状態等が医学的に困難な者も含まれる」とあります。

**Q 3.** 往診と訪問診療はどう違うのですか？

**A 3.** 厚生労働省では次のように定義しています。

イ) 患者の求めに応じた歯科訪問診療（いわゆる往診）

ロ) 歯科訪問診療イ)に基づき継続的な歯科診療が必要と認められた患者に対する、患者の同意を得た歯科訪問診療（いわゆる訪問診療）

つまり初回はイ)であり、その結果継続的に診療を行う場合はロ)になります。ロ)を行う場合カルテには診療計画の記載が必要になります。

**Q 4.** 点数の算定方法が良くわかりませんが？

**A 4.** まずは歯科訪問診療料と在宅患者等急性歯科疾患対応加算（急性対応）を請求し、処置に関してはほぼ通常の診療報酬を請求して下さい。また医学管理は資料3のように請求して下さい。詳しくは弊委員会発行の平成20年度「保険診療の手引き」を参照下さい。

**Q 5.** 歯科衛生士がいなくても良いのですか？

**A 5.** 大丈夫です。訪問診療をするということ、歯科衛生士の口腔ケアをするということは別であると考えて下さい。歯科衛生士に関する項目の算定が出来ませんが診療そのものは通常通り行えます。また後期高齢者在宅療養口腔機能管理料（在口管）の届出には歯科衛生士（非常勤でも可）が必要です。

届出をしていない先生は在口管ではなく歯科疾患管理料（歯管）を算定して下さい。

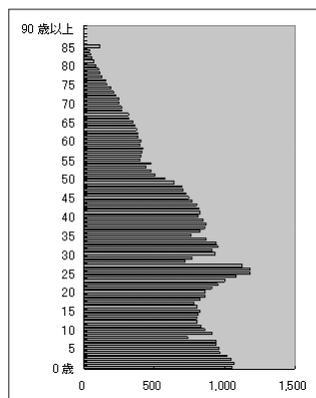
**Q 6.** 介護保険の請求が複雑と聞いていますが？

**A 6.** そんなことはありません。世界で一番複雑な日本の歯科医療保険の請求を行っている先生方にとっては簡単です。算定日と単位数を把握していればレセプトの記載は出来ます。基本的には電子請求ですが、医療機関に限っては紙請求も認められています。またレセプト用紙は特に販売していないため各都道府県や地区の歯科医師会等に雛形がありますのでそれをコピーして使って構わないのです。

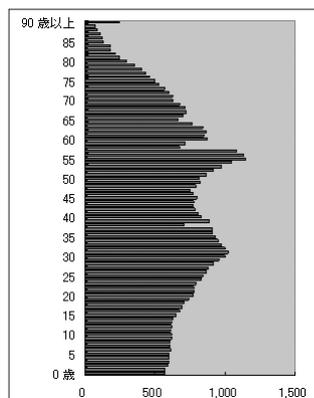
**Q 7.** 普通の歯科医院でも介護保険は取り扱えるのですか？

**A 7.** 保険医療機関であれば、あえて辞退する旨を届け出していない限り介護保険の取り扱い医療機関となります。各都道府県の国保連合会に照会すれば請求に必要な介護保険事業所番号を教えてください。尚、請求権は医療保険の3年に対して介護保険は2年です。

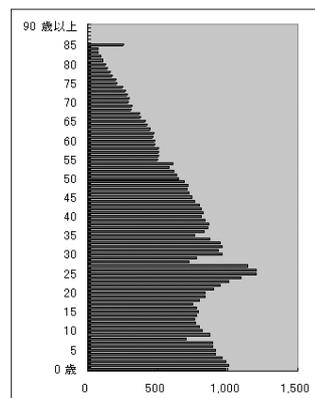
資料1 年齢別人口



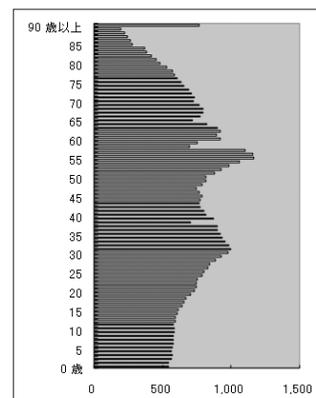
1974年(男)



2004年(男)



1974年(女)



2004年(女)

資料2 障害老人の日常生活自立度

(寝たきり度) 判定基準

生活自立	ランク J	なんらかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1 交通機関等を利用して外出する 2 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2 介助により車椅子に移乗する
	ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1 自力で寝返りをうつ 2 自力で寝返りをうたない

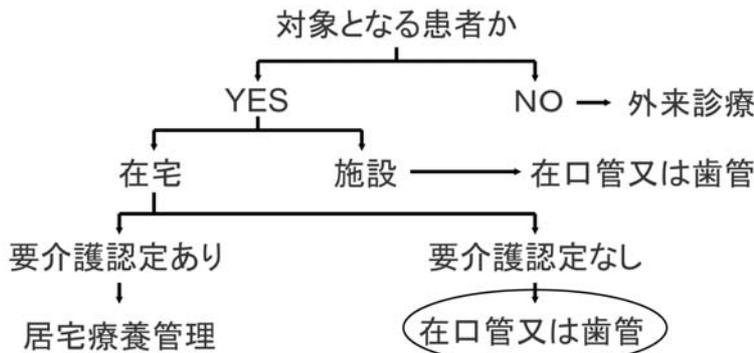
※判定にあたっては、補装具や自助具等の器具を使用した状態であっても差し支えない。  
「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について(平成3年11月18日 老健第102-2号)  
厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知

認知症である老人の日常生活自立度判定基準(抜粋)

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応答や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他傷害等の精神状態や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

「認知症である老人の日常生活自立度判定基準」の活用について(平成5年10月26日老健第135号)  
厚生省老人保健福祉局長通知

資料3 フローチャート(簡易版)



※介護保険は複雑ではありません。

- ・歯管(110)⇒在口管(180)又は居宅療養管理指導費(500)に変わるだけです。
- ・歯科衛生実地指導料(80)⇒訪問歯科衛生指導料(350)又は居宅療養管理指導費(350)に変わるだけです。

## TDC 卒後研修セミナー2010に向けて

### 患者とともに歩む歯科治療 企画に当たり

TDC 卒後研修セミナー2010では「患者とともに歩む歯科治療」をテーマに企画いたしました。近年歯科医療をとりまく環境は大きく変わってきています。全医療費に占める歯科の比率、医療保険の問題、歯科医師需給問題、ワーキングプアと呼ばれ、しいては歯科大学の応募受験者数、学生の質の維持にまで影響を及ぼしてきました。

このことについては2009年の卒研フォーラムでも取り上げさせていただきましたが、現在の歯科医療制度に一言あるという先生は数多くいらっしゃると思います。さらには、研修医制度ができて臨床に出てくるのが実質的に一年伸びたにもかかわらず、実際に患者さんを経験することがままならず、その問題もたびたび聞かえて参ります。

これらの問題を、「厚生労働省が悪い」「日本歯科医師会は何もしていない」「歯科大学はちゃんと教育していない」という合唱をしても何も問題は解決されません。もちろん、情報を知らせていただくことは大切ですが、ご存知の方も多々いらっしゃる様にそれぞれの立場できちんとなさっているのもご理解いただけるものと思います。

それよりも自分達で何ができるかにフォーカスを当てて考えることが、大切なこととも考えております。そのような中で、同窓会学術と

してできることとして、会員の先生方にできるだけ新しく中立的な情報を提供することにより、患者さんによりよい歯科医療を提供できる一助となるべく、あるいは臨床経験の少ない若手同窓会員が困らないように保険、医療管理、医事処理など現場的な情報を、TDC 卒研で築いてきた学術情報と交えた形でのカリキュラムを考えております。

一方歯科医学は接着修復の進歩、CT、CAD/CAMなどの新しい医療機械の発展、多くの分野における治療技術の進歩、確立。さらにはインプラントの出現は欠損補綴の考え方を変えたかもしれません。

しかし、社会が変化し患者の意識が変わっても、歯科臨床の本質までも変わることはありません。

そこで本年度の卒後研修セミナーでは、最初に卒研フォーラムとして、以前より「経過観察」「個の多様性」を提唱していらした金子一芳先生に歯科医業の楽しみを存分にお話しいただき、金子先生の50年以上の臨床をご一緒に体験できればと思います。

卒研セミナーとして古くて新しい根管治療、何も問題が起きないときと、うまくいったはずなのに結果は違うとき。なぜこのようになるかを最近の考え方、器具を含めて考えていきたいと思っております。

つぎには毎日の臨床に欠かせない

レジンの進歩、材料学の進歩はすばらしいものがありますが、術式や理論の理解も必要と思えますのでそれらを整理することも必要と思われる。

さらにはインプラントや咬合育成ということも大きくクローズアップされておりますが、安全、安心、確実を考えもう一度検証し、先生方の臨床に役立てればと企画しました。

そして、比較的臨床経験の少ない先生方や歯科医師にとって最高のパートナーである衛生士さんも含めて、診断やSPTのセミナーを企画しました。

これらセミナーでは新しい技術を日々の臨床に取り入れたいと考えられている先生、もう一度自分の臨床を「患者の経過」さらには「自分の経過」「自分の臨床の変遷」という視点から見つめ直したいと考えられている先生を対象といたしました。

卒研フォーラムでは、患者とともに歩む歯科治療をテーマに経過観察、基本技術の大切さを長期症例を通じて提示いただき、歯科医療の「個別性」、「普遍性」について皆様とともに考えていきたいと思っております。多くの先生方の参加をお待ちしております。

(2010年プログラム委員長  
平井基之)

## 卒研レポート2009

## 一枚のX線写真からみられること

歯科医師であれば、見ない日はないだろうと思われるレントゲン写真についてのセミナーが10月4日に開催されました。

レントゲンはインプラント、審美・ホワイトニングなどの今はやりのテーマ、あるいは矯正、歯周、補綴、歯内療法などの直接の治療技術と違って地味な話題です。デンタルやパノラマレントゲンは毎日みてるよ、今更なにか学ぶことがあるのでしょうか。

一方、デンタルショー、業界紙面では何千万もするCTが華々しく宣伝されています。昭和30年頃タービンエンジンが発売された頃を思い出します。それまでの7000回転の電気エンジンに比べて圧倒的な切削性能は大きな魅力である一方、価格が当時のユニット本体より高価であったので自院に導入することは大変な決断を要することであったと聞いています。家一軒立ちそうなCTの価格を聞いて、自分には関係のないことと見過ごすか、タービンのないユニットがない診療室がないほどに将来普及すると読んで早期導入に踏み切り、先端歯科診療を実現するべきか思案のしどころでしょう。

さて今回のセミナーは、そんな課題にどのように答えてくれたでし

うか。

セミナーはまずレントゲン写真からどんなことがわかるのか事例が提示された後、グループ分けされた参加者がそれぞれ持参した画像をプロジェクターで投影し、ディスカッションしました。講師からの様々なコメントが出されます。テーマは、何を写したかったのかです。

写したい課題に対して、得られた画像は必要な情報を提供しているのかが問われました。根先端の病変を確認するはずがフィルムに組み込まれたマーキングと重なったり、現像条件に検討の余地があるなどの基本的な点から、偏心投影で頬舌根の撮りわけがされたらよかったという少し踏み込んだところまで幅広い年代層にわたる参加者でしたがそれぞれに改善の課題が見つかったようです。

一般の写真は携帯電話内蔵のカメラを始めほとんどデジタルが当然で銀塩フィルムは次々に製造中止になっていますが、CCDセンサー、IPをつかったデジタルレントゲンは、どうなんだろう。レントゲンフィルムは近い将来なくなってしまうのではないだろうか。現在の両者の得失について講義で取り上げられました。それぞれよい面があり、現状



で全てデジタル化することはまだ現実的ではないようです。撮影実習が行われた病院レントゲン室も銀塩、デジタル併設です。

インスタントフィルムもメーカー指定条件をキチンと守れば、有効に使えるということでした。撮影実習は放射線技師さんのアドバイスを受けながら行われ、デジタル、銀塩フィルムでの位置決めのコツ、フィルムホルダー、フラップの使い方などを学びました。患者さんにフィルムを支えていただく際の注意点などわかっているようで実は改めて気づくことがそれぞれにあったようです。シュエデルを持っていたら利用して練習するとよいとの指摘もありました。講演中、何度もマニアックな講習会であるとの話がありましたが、マニアのみが知っていればよいエンスーな内容ではなくレントゲン撮影に携わる関係者が、全員しっかり身につけているべき技術と知識がしっかり盛り込まれたセミナーであったと思います。

(取材・広報部 林 量一)



## 卒研レポート2009 ー卒研フォーラムー 歯科医療の将来へ向けて 国民歯科医療の充実とは

「歯科医療の将来に向けて」という大きなテーマを掲げ、今年の卒研フォーラムが血脇ホールにて開催されました。講師の先生方は大久保満男日本歯科医師会会長、石井拓男千葉病院長、中川勝洋先生、コーディネーターとして宮地建夫先生を迎えて朝から夕方まで熱心な講演会となりました。興味深い内容の講演会ですので大まかな内容を会員の皆様にご紹介させていただきます。

### イントロダクション

「明るい未来のためにして  
おこななくてはならないこと」

コーディネーター 宮地 建夫  
講師のお話に先立ち、宮地先生からは「歯科医療の将来に向けて国民歯科医療の充実のために私たちに今何ができるのか。このような問題を考えていくために、現在どのような問題に直面しているのかということが今回のフォーラムの趣旨になるのではないか。」というお話がありました。

### 「歯科医療現場での矛盾点」

～今起きていること～

中川勝洋先生



9月に行ったアンケートによれば「歯科医療に希望を持っていない」と答えた人が7割近くに上り、年々悪くなっている状況である。歯科界には重い空気が流れている。

私立大学歯学部の実員割れが今年起きた。これは歯科への魅力の低下

である。志願者数も平成19年は1万名だったものが平成21年には5700名ほどに減っている。歯科医療を支える人材の質の低下を危惧しなければならない。

パラデンタルスタッフにおいても技工士は平成12年に37000名であったが平成20年には35000人に減少している。また技工士の5割は50歳以上であること、海外からの技工物の問題もありあと10年すると今の技工水準を保てるか難しい状況になっている。技工士学校、衛生士学校においても定員割れや廃校になるという状況にある。このことは歯科全体の“落ち込み”といえる状況にある。

歯科医療費の伸びを医科と比べると腰折れ状態にある。この理由の一つには歯科において昭和56年以降新しい技術が入ってきていないことがあげられる。(2008年には日歯から85項目の新規技術を提出している) またこの他に既存技術の評価がなされてきていないということもある。

(スタディモデルは36年間、Tコンデは28年間同じ点数である。) 国民医療費に占める歯科医療費の割合は1955年に13%であったが、2007年になると7.3%に下がっている。歯科の魅力、社会的地位を下げている大きな要因である。

また自由診療収入も右肩下がりが続いている現状である。自由診療には混合診療の問題もある。

### 「国民医療の目標とは」

～日本歯科医師会の考え方～

大久保満男先生

未来は過去の延長線上にしか未来はあり得ない。未来は幅がありそれをどう選択するかが今の決断である。



振り返ってどこに問題があったのかその反省の上に立って今の決断がある。新しい未来を築くために我々の決断の根拠を示していきたい。

### 小泉内閣の医療費抑制

国の経済政策の大きな転換と内部の構造的転換が歯科にとって大きなマイナスとして働いた。

小泉内閣の政策の「大きな政府から小さな政府」は社会保障を抑制する政策である。しかし政府の大きさは、政府が勝手に決めることなく、国民の間で議論で決めるべきことである。また「官から民へ」という政策は医療を市場に任せることである。「聖域なき構造改革」医療は聖域でも何でもなし。医療は国策としてコントロールされている。

国民の側から医療を見れば「いつでもどこでも平等に、しかもある意味では安く治療が受けられる。」しかし医師、歯科医師からは「国の経済状態や政策に左右され、コントロールのもとにおかれる。」この国民と医療関係者の間の二つの矛盾の幅を小さくすることが国民と医療関係者の議論となる。

社会保障は本来駆け込み寺のようなものとしてではなく、地域の共同体の堅固な地盤として社会保障があるべき。また社会保障は内需拡大として有効な経済政策である。

平成18年度の診療報酬の改定では、歯科と医科全体では17年度に比べ1200億減少した。うち700億を歯

科の減少が占めている。歯科は医科の医療費の十分の一に満たないことを考えると歯科のダメージがいかに大きかったかを示している。

#### 新政権への対応

与党が政府案を作る。野党は反対や批判をすることはできるが、政策を作るプロセスに関与できない。日歯の政策を与党の政府案に組み入れるためには与党と付き合わなければならない。民主党と信頼関係を築きながら政策協議をしていく。

#### 「国民医療の目標とは」

##### ～開業医の視点～

#### 中川勝洋先生

平成19年度の国民医療費は歯科の占める割合は-0.2%の7.3%と最低になっている。国民総医療費は3%の自然増で歯科だけ置いてきぼりを食っている状態である。

#### 診療報酬改定システム

1978年からの医科歯科の改定率の推移をみると1984年くらいまでは差を認めない。ところが1984年から1996年まで薬価差益を財源として改定率が定められたため薬の使用の少ない歯科では改定率が医科に比べて低い状態が積み重なり、格差ができてしまった。

国民医療費より歯科医療費の伸びが上回っている時期が三つある。

1986年前装鑄冠が新技術として導入、1992年ブリッジの適応の見直し、1996年補管の導入というシステムの変更である。改定率の変更以上に歯科医療費の伸びがあった。このようなこれまでの改定の経緯から将来の改定を考える必要がある。

コストに基づいた保険点数要求をするためにはタイムスタディが必要である。しかも専門的な要員でタイムスタディを作り上げる必要がある。

#### 医療と介護について

居宅療養管理指導料の算定が少ない、衛生士の関与が低いこと、また

医科の点数に比べ極端に歯科点数が低く、歯科の算定要件（時間要件、紙出し、カルテ記載が多い）が面倒であることが問題である。

#### 「歯科医療の歴史の変遷」

##### ～経過と今後の展望～

#### 石井拓男先生



歯科医療のあるべき姿とよくいうが、あるべきとは誰にとってのものなのか、すべてに理想的な制度などあるはずはない。また「座標軸のどこにいるのか、流れの中でどこにいるのか、現在は過去のながれのなかにある。」医科と歯科の違いもこの中で考えなければならない。

医師法、歯科医師法ともに明治39年に制定されたが、医師は政府内に入ってから活動していた。しかしながら歯科医が政府内に入ったのはかなり遅く、医師が入ってから70年後の昭和13年厚生省が設置された時、大西栄蔵が衛生局嘱託としてであった。さらに昭和17年1月に高等官七等として政府に歯科医師が入ることになった。

この他にも昭和50年の全国的に注目された歯科医療問題、先進医療などにも言及されたが紙面の都合上割愛させていただきます。

#### シンポジウム

#### 「国民のための歯科医療を充実させるためになにをすべきか」

##### シンポジスト；

大久保満男先生、石井拓男先生

中川勝洋先生

##### コーディネーター；

宮地建夫、山本英之

トピックのみ紹介し一時間半にわたるシンポジウムをご紹介します。

大久保 「改定率を上げることは大事であるが、既存のものでは影響率を厚生省はすぐに計算できるが、新規技術を取り入れることは影響率が計算しにくく改定率が思いのほか上がることにもなる。新しいものを入れる場合は既存のものにも影響を与えるため、その戦略を考えて入れていかなければならない。」

中川 「インプラントは補綴治療である。昭和51年通知を守っていかなければいけない。全部がインプラントの前処置になってはどうするのか。



石井 「選定療養は患者さんが選択する追加的医療サービスのことであり。評価療養は評価したうえで保険に入れる。」

大久保 「混合診療ここ数年日歯では断固反対をしている。根本にあるものは公的保険の費用を減らし民間保険会社に任せるとを目的にしていたため反対していた。アメリカ型の医療になることには断固反対であった。混合診療にはこのような面もある。」

金子学長 「歯科医師過剰問題、人口出口の問題、質の問題は全部関連している。日本歯科医師会、大学、日本歯科医学会三者の共通の土俵が欲しい。」

#### おわりに

学術部委員会の先生方大きな問題誠に取り組みご苦勞様でした。また来年の卒後研修セミナーにも今年以上の会員の皆様のご参加よろしくお願ひ申し上げます。

(取材・広報部 三友和夫)

# 母校だより

## 母校の今

### 『千葉病院専門外来』

リラックス治療外来  
慢性の痛み・しびれ外来（ペインクリニック）  
障害者歯科外来Ⅰ



東京歯科大学歯科麻酔学講座  
教授 一戸達也

「歯科麻酔科医とはどのような業務を行う歯科医師なのか？」同窓の先生の中には、率直にこのような疑問をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。歯科医師ですらそうですから、患者さんは「歯科の麻酔科って何をするとところですか？」とおっしゃる方は残念ながら未だにかなり多いのが現状です。

このようなことから、千葉病院に専門外来を設置するにあたって、歯科麻酔科医の業務が患者さんによく伝わるようなネーミングを医局員一同で考えました。歯科麻酔科医のおもな業務は、専門的な表現をすれば、(1)歯科患者の全身管理（モニタリング、精神鎮静法、全身麻酔）、(2)歯科患者のペインクリニック、(3)院内での救急対応、ということになります。これらの業務を患者さんたちによりよく理解していただき、私たちの専門外来を利用していただくために、3つの専門外来を設置しました。これらは、(1)リラックス治療外来、(2)慢性の痛み・しびれ外来（ペインクリニック）、(3)障害者歯科外来Ⅰという名称です。「リラックス治療外来」と「慢性の痛み・しびれ外来（ペインクリニック）」は平成16年12月13日に、「障害者歯科外来Ⅰ」は平成17年4月11日に、それぞれ設置が承認されました。

「リラックス治療外来」は歯科治療や口腔外科小手術（インプラント手術を含む）を快適な環境で受けていただき、できれば「千葉病院にまた行きたくなる」と感じていただけ

るようになることを最大の目標としています。対象となる患者さんは、歯科恐怖症（過換気症候群や嘔吐反射の患者さんを含む）や有病者（高血圧や心疾患、呼吸器疾患や糖尿病などの基礎疾患のある患者さん）、口腔外科小手術を受ける患者さんなどです。行われる方法は精神鎮静法、中でも静脈内鎮静法が主体です。精神安定薬や静脈麻酔薬を少量静注し、快適な「ほろ酔い加減」のような自覚症状の中で歯科治療を受けていただきます。患者さんは治療終了後に治療内容をほとんど覚えていないので、不快なことや辛かったことを忘れてしまいます。千葉病院リラックス治療外来で行われた静脈内鎮静法は、障害者に対して行われたものも含め、2008年度は2300例を超えました（図1）。この数は他施設に比べて圧倒的に多いもので、歯

科大学病院でも普通は数百例がいいところですが、それだけ千葉病院の院内からの紹介と、近隣の歯科医師からの紹介が多くなっていることがお分かりいただけるかと思います。リラックス治療外来の設置当時は、嘘のような話ですが、電話で「足のツボをマッサージしてもらえますか？」というような問い合わせもありました。最近は患者さんにもだいぶ理解していただけてきたものと思います。

極度の歯科恐怖症や強い嘔吐反射の患者さんに対しては、「リラックス治療外来」で日帰りの全身麻酔下歯科治療もかなり多く行われています。歯科麻酔科外来での全身麻酔は年間で150例弱（手術室は650例程度）ですが、このうちの一部がこのような患者さんに対するものになっています。

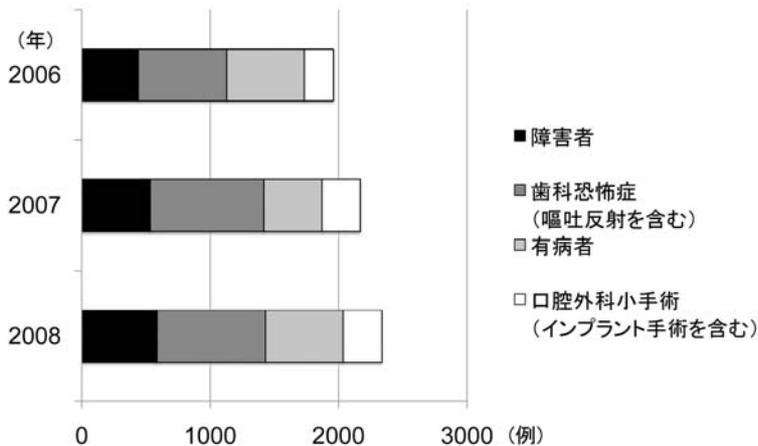


図1 静脈内鎮静法の症例数の推移(2006年～2008年)

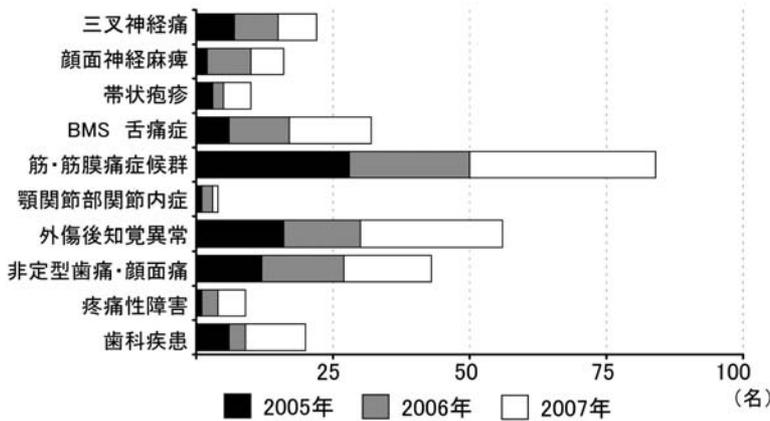


図2 慢性の痛み・しびれ外来の新患者数の推移(2005年～2007年)

「慢性の痛み・しびれ外来（ペインクリニック）」は、三叉神経痛や顔面神経麻痺の他、最近では拔牙やインプラント手術後の神経損傷や各種の非菌原性歯痛が診療の対象になっています（図2）。もちろん口腔外科外来でも、従来から神経痛や神経麻痺などの診療が行われてきました。私たちは口腔外科の医局員と密接な連携を取りながら、特に歯科麻酔科的な治療法の適応がある場合には「慢性の痛み・しびれ外来（ペインクリニック）」で診療を行い、逆に手術適応のある場合などには口腔外科に紹介するという体制を取っています。歯科麻酔科の治療法の代表が星状神経節ブロックです（図3）。星状神経節ブロックでは頸部にある交感神経幹付近に局所麻酔薬

を注入します。その結果、顔面部の交感神経の機能が抑制されるので、血管が拡張して血行が改善し、交感神経を介した痛みが軽減します。神経の再生が促進され、筋肉の血行障害が改善するので、顔面神経麻痺や顎関節症の筋痛に対して大変よい効果が得られます。同様のメカニズムで、拔牙やインプラント手術に起因した下歯槽神経や舌神経損傷後の知覚異常に対してもよい効果が得られます。

非菌原性歯痛も「慢性の痛み・しびれ外来（ペインクリニック）」の主要な治療対象です。非菌原性歯痛とは「歯が原因ではない歯の痛み」のことです。代表的なものには筋性歯痛があります。咬筋や側頭筋のスパズムは上下顎大臼歯部の歯痛様の症状を起こします。顎二腹筋前腹のスパズムは下顎前歯部の歯痛様の症状を起こします。いずれも抜髄を行っても歯痛は改善しませんし、下手をすると痛みが悪化することもあります。う蝕がないのに歯髄炎のような症状を示すときには、ちょっと立ち止まって咬筋や側頭筋、顎二腹筋などを触れてみて下さい。圧迫によって歯痛が増悪する場合には、筋性歯痛の可能性があります。

拔牙やインプラント手



図3 星状神経節ブロックの実施風景

術に起因した下歯槽神経や舌神経損傷後の知覚異常は、それが知覚鈍麻だけで済んでいればまだいいのですが、場合によっては神経因性疼痛という痛みを起こします。この痛みは患者さんにとってとても辛いものであると同時に、治療が極めて困難です。もし神経損傷を起こしたら、速やかにペインクリニック的な治療を開始し、神経因性疼痛を発症させないようにしなければなりません。訴訟などのトラブルに巻き込まれないようにするためにも、患者さんをなるべく早くご紹介いただければと思います。

障害者歯科外来はその名のとおり、障害のある患者さんの専門外来です。障害者歯科外来にはIとIIがあります。主として薬物による行動調整（精神鎮静法や全身麻酔）を用いて治療を行うのが障害者歯科外来Iであり、歯科麻酔科外来がその機能を果たしています。主として行動変容を用いて治療を行うのが障害者歯科外来IIであり、小児歯科外来がその機能を果たしています。これら二つの外来で、精神遅滞や自閉症などの知的障害、脳性麻痺や筋ジストロフィー、脳血管障害やパーキンソン病などの身体障害、統合失調症などの精神障害の患者さんの治療を行っています。障害者歯科外来Iで用いられるのは、リラックス治療外来と同じく静脈内鎮静法や全身麻酔です。最近では障害児ばかりでなく、認知症の患者さんの日帰り全身麻酔下歯科治療も行われるようになってきました。なお、これらの患者さんの治療は、障害者歯科の経験の豊富な小児歯科を中心とした各科の歯科医師が行っています。

これら3つの外来は、歯科麻酔学講座の本務教員6名（教授1名、講師3名、助教2名）とレジデント1名および大学院生、臨床専門専修科生で診療に当たっています。お問い合わせは東京歯科大学千葉病院歯科麻酔科外来（043-270-3902）にお願いいたします。患者さんをご紹介いただける場合には、予め電話でご予約をいただくと診療がスムーズに運びます。よろしくお願いたします。

## 第41回歯学体 総合成績「準優勝」

### ～優勝までもう一歩～

第41回全日本歯科学学生総合体育大会は「明海大学歯学部」の事務主管により、冬期部門は平成20年12月26日(金)～平成21年3月20日(火)〔ラグビー(20.12.26～30),アメフト(21.3.15～19),スキー(21.3.16～20)〕に実施され、本学はスキー部門に出場した。また、夏期部門の競技は平成21年7月19日(日)に少林寺拳法が先行して実施され、熱戦の火蓋が切っておとされた。主な競技は8月1日(土)の開会式後から10日(月)までの11日間で順次実施され、8月12日(水)の閉会式をもって第41回歯学体が幕を閉じた。本学は冬期・夏期併せて18部門、延べ376名の学生が各部門競技に参戦した。入賞部門は、冬期部門でスキー部が2連覇を飾り、夏期部門では、バドミントン部の優勝を筆頭に、硬式庭球部、剣道部、陸上競技部が準優勝、硬式野球部、ヨット

#### 入賞部門

部門名	順位	Point
バドミントン部門	優勝	21.0
スキー部門	優勝	20.0
硬式庭球部門	準優勝	16.0
剣道部門	準優勝	16.0
陸上競技部門	準優勝	14.0
硬式野球部門	3位	11.0
ヨット部門	3位	7.0
少林寺拳法部門	3位	3.0
サッカー部門	4位	12.0
水泳部門	5位	7.0
バレーボール部門	6位	6.5
軟式庭球部門	6位	5.0
弓道部門	7位	5.0
卓球部門	8位	3.0

※部門順位、ポイント獲得順で記載

部、少林寺拳法部が3位という成績を取めたほか、下記のクラブがデンタルポイントを獲得した。個人戦においても各部門で日頃の練習成果を遺憾なく発揮し、優勝、準優勝をはじめ好成績を残し、多くの得点を獲得した。あと一歩のところまで総合優勝には手が届かなかったものの、昨年よりもまた一つ順位を上げ、総合成績で準優勝という輝かしい成績を取めた。

#### 総合成績

順位	大学名	得点
優勝	愛知学院大学歯学部	165.25
準優勝	東京歯科大学	146.50
3位	日本大学歯学部	142.75
4位	大阪歯科大学	119.50
5位	日本大学松戸歯学部	99.50



#### 団体部門入賞成績

部門名	順位
スキー部門女子団体	優勝
スキー部門男子団体	準優勝
剣道部門男子団体	準優勝
バドミントン部門男子団体	準優勝
ソフトテニス部門女子団体(軟式庭球部)	3位
バドミントン部門女子団体	3位
水泳部門男子団体	4位
水泳部門女子団体	5位
弓道部門男子団体	5位
弓道部門女子団体	6位
ソフトテニス部門男子団体(軟式庭球部)	6位

#### 各個人成績 優勝者

部門名	種目名	学生氏名(学年)
スキー部門	男子個人総合	木村 翔馬(3年)
〃	男子個人SG	木村 翔馬(3年)
〃	男子個人GS	木村 翔馬(3年)
〃	男子個人SL	木村 翔馬(3年)
バドミントン部門	女子ダブルス	永田 彩(衛2年), 鈴木 春菜(衛1年)
陸上競技部門	女子4×100mリレー	山崎 晴香(6年), 多田 恵子(4年), 松本 亜弓(3年), 鈴木 貴子(1年)
〃	女子200m	鈴木 貴子(1年)
〃	男子走り幅跳び	増田 隆雄(6年)
〃	男子110mハードル	増田 隆雄(6年)
〃	女子800m	多田 恵子(4年)
〃	女子400m	多田 恵子(4年)
〃	女子3000m	多田 恵子(4年)
剣道部門	男子個人戦式段以上の部	石田 圭太(5年)
ソフトテニス部門(軟式庭球部)	女子個人戦	池田 朋子(4年), 大山 陽子(4年)
卓球部門	男子新人戦	和智宏太郎(2年)

歯学体で活躍する母校学生



# 追 悼

## 故 浅井美幸君を追悼する

元東京歯科大学同窓会浅井美幸後援会幹事長  
三宅直晴



第五三期（いづみ会）の同級生であった浅井美幸君が10月4日夜、肺炎で死去された。

彼は在学中卓球部で活躍されたが、母校卒業後公明党公認の大阪府議を経て、昭和42年衆議院議員に当選、以後連続9期、約27年に亘り国政に参画した。

昭和40年代、創価学会、公明党に対する市民の受け取り方は、相当厳しいものがあつたが、同級生の間から彼の後援会を同窓会に作ってもらえないかという要望が強くなり、そこで当時の井上 真会長を有志2、3人でお呼びして打診を行った。

井上会長は「同窓である以上、党派は問わない。勿論、全面的に協力するよ」と言って頂いた。今の公明党に対する認識とは違って、否定的な意見の同窓も多い時代であつたが、評議員会、総会も無事に乗り切ることが出来、後援会の設置が決まったのである。いまでも井上先生の御盡力には感謝している。

それからは、井上、関口後援会と共に、約12年、三後援会は続き、同窓として、三人も国会議員を擁していることに誇りを持っていたものである。

彼との思い出は尽きないが、60年以上の長い付き合い

で、公明党や創価学会の話をしたことは一切なかった。誰に対しても偉ぶらず歯科医師としての誇りを持ち、歯科の現状、将来にはいつも強い関心をもって、いろいろ力になってくれた。

例えば、平成4年頃だつたと思うが、総義歯の保険点数が低過ぎることを常々案じ、私にその資料を作ってくれと依頼された。早速詳細な資料を届けたところ、時の山下徳夫厚相や保険局長等に歯科医療費の改定をするべく迫ってくれたことを思い出す（質問要旨は官報に記載されている）。

彼の選挙区は、旧制度の大阪2区であつたが10万票以上とってトップ当選したことも多かつたが、或る日、「創価学会関係の人の票はどの位なの」と聞いたら、全体の2割位で、あとは一般の人の票だよ」と聞いて、びっくりした。彼の人を引きつける人柄、気配り、面倒見のよさに、ハンサムで格好よかつたことがその当選の要素でなかつたかと思う。

彼は選挙期間中、党副委員長として応援で全国を飛び廻り、自分の選挙区は初日と最後の2日だけということで奥様が殆ど選挙カーに乗り、選挙運動をしていたのである。

私も東京歯科大学同窓会浅井後援会幹事長として応援演説を頼まれ、何回か同窓会を代表して応援に行ったことがあつた。

平成5年、議員を辞めてからは夫婦で何回もクラス会に参加してくれていた。その内助の功著しかつた奥様にも先立たれて、彼の落胆ぶりが激しかつたことは忘れられない。今頃はその奥様と久しぶりに積る話に花を咲かせているのではと推測している。

最後に、長い間の友情に感激すると共に、心からのご冥福を祈り、喪心より哀悼の意を表すものである。

安らかにねむり下さい。 合掌

## 黒柳錦也先生を偲んで

歯科放射線学講座教授 佐野 司



本学名誉教授黒柳錦也先生は、平成21年10月24日にご療養中のところ長逝されました。黒柳先生は、昭和11年3月3日東京都にお生まれになり、同36年3月東京歯科大学を卒業され、同36年4月に同大学大学院歯学研究科に入学、同40年3月同研究科を修了、同時に歯学博士の学位記を受領されました。昭和40年4月に東京歯科大学助手（口腔外科学）として勤務、同年10月に同大学講師（口腔外科学）、同49年4月に同大学助教授（歯科放射線学）、同52年10月に同大学教授（歯科放射線学講座主任教授）に就任されました。その後、平成7年6月から東京歯科大学図書館長、同10年6月から東京歯科大学歯科衛生士専門学校長を務められ、同13年3月定年退職され、同年4月に東京歯科大学名誉教授に就任されました。黒柳先生は、東京歯科大学において36年もの永きにわたり、歯科放射線学の教育、研究、診療活動に専心され、さらに、日本歯科放射線学会をはじめ多くの学会で

ご活躍され、歯科放射線学はもとより、日本の歯科医学、歯科界へ大きな足跡を残されたことはいうまでもございません。私が本学に赴任する前に学会でお見かけしていた先生は、雲の上の存在でした。先生は、周知のように枚挙に暇のない業績を残されましたが、その中でもパノラマ撮影で生じる障害陰影の研究は特筆すべきものであり、今日の歯科診療での質の高いパノラマ画像による診断は、先生のご功績なしには語ることはできません。偉大な先生が逝去されたことは、われわれにとって失望落胆の極みです。心より先生のご冥福をお祈りいたします。

歯科放射線学講座准教授 和光 衛

歯科放射線学教室には、〈黒柳錦也語録〉が今でも残されています。これは、黒柳先生の教室運営のための基本理念が記載されたものです。その中に、教室員の心得として、“教室は海を往く船であると理解せよ”というのがあります。これは、目的地に向かって船を上手に運行させるための考え方を的確に表現したものでした。日常の業務は診療、教育、研究であり、教室員は乗組員としての役割と責任を分担し、そして個人の行動は常に全体の調和とバランスを壊してはならない、ということをお伝えしたのではないのでしょうか。また、研究に関しては、“It's your duty and job”, “良き人間関係、集団あってこそその研究”といった語録がとくに記憶に残っています。人生を重ねた分だけこれらの語録の重みを実感できる気が致します。

思い起こせば、学術論文の原稿校正に対する厳格さは人一倍強かった気が致します。まさにその添削手法は緻密かつ正確な芸術的要素を含んでいました。一字一句を丹念に読み込んで寝かせ、それを何度も繰り返しながら一点の矛盾、無駄のない完成度の高い論文に仕上げるという姿勢は、今の私にも多に参考になっています。先生に指導していただいた学術論文はその殆どが基礎的研究でしたが、「臨床画像診断はサイエンスではない」というお言葉に強い衝撃を受けたことを覚えています。

先生を想う時、フランスの哲学者パスカルの著書『パンセ』の中の有名な言葉、『人間は考える葦である』が浮かびます。黒柳先生は真摯、清潔、繊細といった言葉がお似合いの方でしたが、人間の無力さ、弱さを知りながらも、常に“考える”ことの尊厳を教えて下さったような気がいたします。

# 支部のうごき

## 信越地域支部連合

### 総会開催される

上記総会が8月29日(土)長野県は松本市のホテル「ブエナビスタ」で開催された。本部より大学理事長熱田俊之助先生、学長の金子 譲先生、そして同窓会長大山萬夫先生のお三方を迎え、新潟・長野の同窓生総勢76人が一同に参集しての総会となった。

総会では来賓のお三方がそれぞれのお立場から120周年を迎えるにあたっての現在の大学と同窓会がおかれている状況を話されたが、特に金子学長は「明日の東京歯科大学をどうするのか」という先見の見地から、現在の大学を取り巻く環境や今後の課題について種々の映像やデータを示されて詳しく説明された。金子学長のお話を伺い現在の東京歯科大学の状態が大変重要な時を迎えていることが良く理解でき、このような時こそ私たち同窓生は心を一つにして難局に立ち向かい、大学移転という難問題にもスクラムを組ん

で、明るい未来を築いて行こうという決意を新たにした次第である。

この後地元松本市出身で母校口腔インプラント学講座主任教授の矢島安朝先生による“CHANGE” WE CAN BELIEVE IN インプラント治療は変わる「検査、コンサス、そして事故の教訓から」と題して、この3つのキーワードを中心に現在のインプラント治療の流れをどのように

変革していく必要があるのかを、先生の豊富な症例を示して講演をされた。

懇親会には上記お三方の来賓に加え長野県歯科医師会会長の滝沢 隆先生、松本市歯科医師会会長の上島昌先生をお招きして盛大に開催され、和気藹々のうちに夜の更けるのも忘れ、参加した信越地域支部会員は大いに懇親の実を挙げたのであった。(犬飼康元 記)



## 北陸地域支部

平成21年10月31日(土)すがすがしい秋晴れの中ユアーズホテルフクイにおきまして、東京歯科大学同窓会北陸地域支部連合会総会と学術講演会が開催されました。

総会に先立ち学術講演会が行われました。今回は東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座教授の山根源之先生に「歯科臨床に関わりの深い全身的投与薬剤」という演題で特に抗凝固剤、抗血小板、抗生剤、ビスフォスフォネート製剤等について開業医にとっても日々身近になっているこのような薬剤にたいしてどう対処していけばよいかわかり

やすくご講演いただきました。

総会は伊藤 透福井県支部幹事の開会の辞で幕が開き、当番県である福井県支部長の前田 昇先生の挨拶があり、同窓会会長大山萬夫先生の挨拶においては今後の同窓会のありかたや大学に対して同窓会の果たすべき役割など詳しくご説明いただきました。

そのあと学長の金子 譲先生の挨拶においては厳しくなっていく社会情勢の中で、今後大学はどうあるべきか今の現状と20年、30年後の東京歯科大学像等を語っていただきました。次に北陸地域理事の宮本宣良先

生には理事の削減と地域割りの予定等をくわしくご説明いただきました。

協議事項においては前々年度に開催された、石川県支部の会計報告、又富山県より議案が出され活発な意見討論がかわされました。

その後、次期当番県の富山県支部長である、金川直博先生の挨拶があり総会は終了しました。

引き続き行われた懇親会では富山、石川、福井という垣根を越えた語り合いがなされ楽しいひと時を過ごすことができました。

(島田雅胤 記)



## 九州地域支部連合会

平成21年10月17日(土)、別府市にあります「ホテル白菊」におきまして平成21年度の九州地域支部連合会総会ならびに懇親会が行われました。

今回は大分県が開催県となり、九州8県から51名の先生方が参加されました。また、来賓として同窓会本部からは大山萬夫会長、江崎梅太郎副会長ならびに濱田孝一理事、大学からは薬師寺 仁副学長に出席していただきました。

まず、午後6時よりホテルの東館5階にあります「白虹苑」にて総会を行いました。田中一秀先生の司会により始まった総会は吉武 勝先生の開会の辞、物故会員弔慰・黙祷、吉澤健介大分県支部支部長の挨拶、

来賓紹介に続いて来賓の先生方からご挨拶をいただきました。

大山会長からは「大学は現在大変な時期を迎えており、移転・改築についての正確な情報が必要である。また、100名程度の卒業生に対し毎年130名程度の死亡会員がいる、同窓会自体をスリムにしないといけない。」とのお話をいただきました。

薬師寺副学長からは「大学現況報告として：編入試験の採用や国家試験について、また大学移転の背景として：千葉校舎の高額な維持管理費、水道橋病院の赤字などがあり、新しいキャンパスは2012年4月に開校予定である。」とのお話でした。吉武先生の閉会の辞にて総会を終了し、場所を懇親会会場へ移しまし

た。

懇親会はホテル東館地下1階の「さわらび」にて行いました。まず、参加者全員での記念撮影の後、神崎康司先生の司会進行のもと、江崎副会長の乾杯で祝宴となりました。大分名物のふぐや関アジをメインとした料理に舌鼓を打ちながら、お座敷に車座になってお酒を酌み交わす姿は、さながら学生時代の九州人会のようでもあり、お座敷での宴会もいいなと思わせる光景でした。途中、次期開催県である佐賀県の副島洋二支部長からご挨拶があり、今回の総会は武雄温泉にて行う予定とのお話でした。宴もたけなわでしたが校歌斉唱にてお開きとなり、2次会にも30名以上の先生方が参加され、大変楽しい同窓会となりました。(小野 聡 記)



## 群馬県支部

### 平成21年度定時総会・講演会

7月11日(土)午後3時より伊香保の塚越屋七兵衛 別館 香雲館に於いて定時総会・学術講演会が開催されました。来賓として、同窓で群馬県歯科医師会副会長の大國 勉先生、学術講演会講師に、有床義歯補綴学講座主任教授 櫻井 薫先生をお迎えしました。開会后、逝去会員へ黙祷を捧げ、続いて清見能久同窓会会長より挨拶が行われ、総会においての慎重審議、学術講演会での研鑽、9月に行われる関東地域支部連合会総会(群馬県主催)への協力についてお話がありました。来賓の大國勉先生より挨拶が行われ、今年の歯科医師国家試験において、合格率が私立大トップであったことや、大学入学者の定員割れの心配も全くないことを同窓として誇りに思うというお話がありました。顧問 富澤憲男先生の挨拶では、武安一嘉前同窓会会長の労をねぎらい、清見新執行部

への激励の言葉をいただきました。そして、9月の関東地域支部連合会総会の成功のために、同窓会員の一致団結を訴えられました。議案審議に先立ち、議長に森下正教先生が選出され、平成20年度事業報告、一般会計および福祉共済部会計決算に関する報告があり、全て満場一致で可決承認されました。関東地域支部連合会会長 武安一嘉先生から関ブロ総会において、多くの会員の参加と協力についてのお話がありました。また、関ブロ総会予算(案)についても承認頂き、順調に総会を終了することができました。

引き続き、同会場にて学術講演会が、「よく噛める総義歯とは」(咬合と辺縁封鎖)という演題で行われました。講演に先立ち、櫻井教授に大学の現状についてお話いただきました。東京歯科大学は現在、入学者の定員割れはしていないが、地方の歯科大が大幅に定員割れしており、大

学を東京に移転する大きな一因となっていること、入学者における現役の合格率は50%を切っており、同窓の子弟も少なくなっていることなど、また、大学を水道橋へ移転する基本計画について説明していただきました。

講演会では、よく噛める義歯であるためには維持安定が良好でなくてはならない。維持に関しては義歯床をどう表現するかという印象採得にかかっている。また安定は片側性均衡と両側性均衡の両方が成立している必要があります、これは人工歯排列と咬合調整にかかっている。ということで、今回は、印象採得、人工歯排列、咬合調整について詳しくお話していただきました。

学術講演会終了後、記念撮影を行い、正木光児先生の乾杯のもとに懇親会を開宴しました。終始なごやかな雰囲気の中で、お互いの親睦を深め合い、最後に校歌を斉唱してお開きとなりました。(三丸 潔 記)



## 横浜西部支部

### 一泊総会・懇親会

平成21年10月28日(水)、泉区の相庭常人君、本間雅之君が幹事となり、熱海聚楽ホテル「月の栖」において、総会が開催された。今回は会員18名の参加があった。

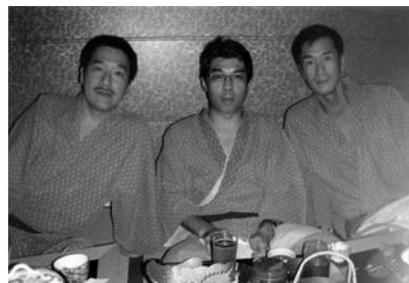
午後4時30分より、学術講演会が行われた。今回は、本会員の佐々木智則君による「The point of the homepage creation in consideration of dental clinic management」との演題にて、講演が行われた。歯科医院のホームページの立ち上げから運営までのコツを、実際に、自院のホームページを紹介しながら説明して頂いた。改めてブログの重要性、患者さんのために「成長・変化している歯科医院」を表現する事の大切さが解り、とても為になる内容であった。

講演会終了後、総会が開かれた。島田英明支部長の開催の挨拶が行われた後、島村 大神奈川県連合同窓会副会長より創立120周年記念式典・祝賀会、大学の移転等の報告がなされた。再び、島田英明支部長より、会務報告がなされた。続いて、萩原功君より、会計現況報告がなされた後、新入会員の渡瀬秀彦君の紹介がなされた。その後、当日の議題として、次期支部長について立候補者がいなかった為、執行部推薦にて、全員賛成のもと再度島田英明支部長にお願いする事となった。又、次期監事・評議員も同様に決定された。最後に杉山紀子神奈川県連合同窓会副会長より閉会の挨拶がなされた。

総会終了後は、宴会場へ場所を移し、島田英明支部長の挨拶の後、杉山紀子神奈川県連合同窓会副会長

の乾杯の発声で宴に入った。宴会は、皆、笑顔が絶えず、終始和やかな雰囲気であった。途中、武居 純君の結婚が祝われた。皆日頃のストレスも忘れ、宴会は楽しく続いたが、時間も押しせまり、宴もたけなわであったが、佐藤信之副支部長の閉会の辞をもって終了となった。

(中島清司 記)



## 神奈川相北支部

### 平成21年度総会・学術講演会

平成21年11月7日(土)、小田急ホテル相模大野にて相北支部総会が開催された。当日は会員26名の出席があり、学術講演会の講師として、今年4月に東海大学医学部口腔外科の教授になられた太田嘉英先生(本学昭和60年卒)をお迎えした。

総会は、村山正之支部長の挨拶に始まり、河原武彦議長のもと、高橋庸理事の庶務報告、小島正裕理事から21年度会計報告、大塚哲也監事から監査報告がなされ、すべて承認された。その後、次期支部長の選出に移り、高橋捷治君が推薦され、選出された。そして、田中恭三副支部長のあいさつで、ひとまず閉会した。

講演会は、“これでガンは見逃さないぞ”という演題で、太田教授の専門の口腔扁平上皮癌の臨床像とその裏付けであった。まず、舌癌を見分けようというわけで、診断力テストとして、7症例のスライドを提示されたが、明らかなもの、見分けに迷うものといろいろであった。例えば臨床像の色調では赤いのに白いのが混じっているのに注意で、これは赤いのは毛細血管が多いので増殖が速いため、白いのは組織壊死して

いるためであるなど、わかりやすく解説された。また、豊富な臨床例から医学部ならではの外科や耳鼻科、形成外科との共同手術が可能なこと、症例数が多いために経験が accrue するというので、最後には25症例を一気に説明された。当支部の足元にこのような信頼のおける施設があることは頼もしい限りと感じた講演であった。

懇親会は渋谷利雄前支部長の乾杯で始まり、いつもながらのおいしい食事と、各自のスピーチで楽しく過ごし、お楽しみ抽選会では、商品券をゲットした面々もあった。

(新倉良一 記)



## 鹿児島県支部

平成21年8月1日篤姫の生まれ育った鶴丸城のある鹿児島市と桜島の浮かぶ錦江湾を見下ろす西郷隆盛終焉の地に建つ城山観光ホテル ホルト（キャッスルガーデン）にて恒例のビアパーティーが行われた。本日は生憎の梅雨空でホテルの屋内での開催となったが、支部会員23名の出席を得た。

今年は鹿児島県歯科医師会会長に森原久樹会員と副会長兼歯科学院校長に西孝一会員、鹿児島市歯科医師会会長に橋口哲彦会員等々が多数重職に就任した。

いつも和やかな支部ではあるが、今回は一段と愉快的なパーティーとなった。

米良豊常総務の司会のもと、内田信友支部長の九州各県支部長会報告を兼ねた挨拶と森原久樹新県会長の決意と抱負の挨拶があり、本日の先輩篠原壽宏会員のユーモアのある乾杯の発声でいつの間にか、わいわいがやがや大笑いの時の中で、そこには若かりし頃の東歯の学生たちがいた。

また、薩摩より逐次報告する予定である。

### 【出席者】(卒年度)

篠原壽宏(S34年)、中村逸朗(S35年)、下野久夫(S36年)、飯野和男(S42年)、森原久樹(S43年)、内山太一郎(S44年)、橋口哲彦(S48年)、内田信友(S49年)、吉嶺

光(S50年)、上村光(S50年)、西孝一(S50年)、森原和久(S51年)、山崎学(S52年)、重久清孝(S52年)、鬼丸高久(S55年)、米良豊常(S55年)、長田博(S57年)、上野修(S58年)、住吉公子(H2年)、下津昭洋(H4年)、湯田晃大(H19年)、水枝谷彬代(H20年)、田松裕一(H6年院)

(鬼丸高久 記)



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。

## 「我が街 亀戸」

### 城 東

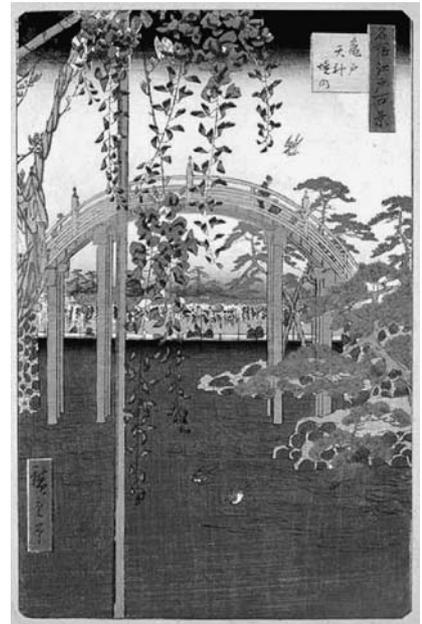
東京都江東区は 東京のやや東に位置する比較的下町情緒溢れる地域であります。

東京地域支部連合会下で同区には城東支部と深川支部が存在します。深川地区は熱田理事長の地元であり、有形無形を問わず江戸時代からの伝統的な粋な風情を多く受け継いでいる地域であります。私の開院する城東地区、そして亀戸という所は、立派にJRの駅も存在しております。しかしながら、「どこで開業されていますか？」と聞かれ、「亀戸です。」と答えますと「亀有ですか？」「いやいや、錦糸町より一つ千葉よりの……」「ああ、確かにJRの駅ありましたね。昔はよく錦糸町の楽天地でむちゃしたものです。ハツハツハツハ〜」という残念な会話がなされることが多いのが実情です。

このように全国的には比較的知名度が低い地域ですが、特記すべきものを記載しますと、まずは亀戸天神社の藤まつり。これはゴールデンウイークに入る前より藤棚に花が咲乱れ、いざ連休に突入しますと大変な賑わい様となります。観賞後は大概の方が船橋屋のくず餅をお土産に帰路に向かわれます。天神社近隣には

江戸切子の工房も多く見られ、芸術品が出来上がるまでの伝統的職人技を見ることができます。比較的近代の名所としては、サンストリートというショッピングモールがあります。以前の第二精工舎（現SII）跡地に、アパレル関連、大型玩具販売店、大型家電量販店や飲食店等様々なショップが集まり一つの街を形成しております。この中央に位置する広場にはステージがあり、休日には何らかのイベントが開催されていますが、新人アイドル系歌手やバンド等の登竜門となっているそうです。その理由はここに観に来る方々はとて暖かく迎え入れてくれ、新人にとって自信を付けさせるのもって来いな場所であるとの噂を聞きます。

さて亀戸駅より徒歩2分、知る人ぞ知る亀戸ぎょ一ざという老舗。メニューは飲み物以外は焼き餃子のみ。座れば黙っていても1人前さつと出てきます。テイクアウトもあり、焼く前もしくは焼いた餃子をチョイスできますが、やはりプロが焼く焼きたてを趣のあるお店で食した方が良いでしょう。またこの近辺にある亀戸ホルモンなるお店も人気で、こ



歌川広重 名所江戸百景  
亀戸天神境内

の一带（路地）は世の中の不況も全く関係のない別世界を呈しています。興味のある方はどちらもインターネットで検索してみてください。とは言うものの、実は私は東京生まれの東京育ちではなく、愛知県出身であります。縁あってこの地に住み、開業することになりました。地方出身者にとっても非常に住みやすい地域であります。以上のような環境で素晴らしい同窓の先輩、後輩に囲まれて日々を送っている次第であります。

（昭和58年卒 原 泰司 記）



サンストリートマーケット広場（雨天仕様）



貧乏神社亀万

# クラス会だより

## クラス会開催日程

十二期会(昭和39年卒)

とき 平成22年5月21日(金)～22日(土)1泊2日  
ところ 浦安「ヒルトン東京ベイ」

## 一期会

金木犀が甘い芳香性の香りを楽しませてくれる晩秋の平成21年10月11日、一期会第56回総会が思い出深い水道橋校舎にほど近い東京ドームホテル内の「熊魚菴たん熊北店」で開催された。会は山本(勝)の司会によって進行し、議長に北海道砂川から出席の押尾君を選出、多胡君の会長挨拶と押尾君の旭日双光章受賞の披露並びに喜びが述べられた。これは一期会の名誉でもあり、全員から盛大に賞賛の言葉が贈られた。一方、残念ながら本年度は、吉住典也・杉山幸人・小菅三喜雄・佐藤徹一郎・宝田 忠・岩井重尊・佐藤和男の7名の諸君が亡くなられ、全員で黙祷を捧げ、謹んでご冥福をお祈りした。年次報告が庶務・山本(勝)、会計・阿部君、監査・西山君からそれぞれ行われ、承認された。ついで、今回最も重要な議題「一期会会則改正」が、事前に一期会の諸兄に郵送されている改正案について、監事見明君から詳細に説明された。要旨は、卒業以来順調に継続してきた本会が会員および役員の高齢化によって円滑な運営が不可能になり、いつの日か解散を迎えるようになることと、残余財産処分の実施にあたり会則改正を行う必要上、その承認を求めることである。当日出席会員の意見聴取後、議長の裁決を経て全

## 昭和28年卒

員諒承の結果を得た。これを受けて一期会は、明年母校創立120周年記念行事への参加と、母校大学院入学生の独創性・発展性の優れた研究者を育成することを目途として実施してきた奨学金「一期会賞」の授与が大学との約束で明年終了することを踏まえ、明年本会を解散させる、そして明年の総会を“幕引き総会”とすることが同意された。明年の「一期会」が最終回にふさわしい総会になるよう幹事会では出来る限りの配慮をいたします。諸兄・御家族の多数のご参加を是非お待ちいたします。なお、会議では「会の解散とは」「解散後の大学と同窓会」との関連などについて熱心な意見が述べられた。本会ではこれらを充分参考

にして今後運営してゆく由であります。例年より長時間を要した総会も滞りなく終了、見明監事から閉会の辞があり、直ちに同会場で懇親会に入り、西山君の音頭で乾杯が行われた。参加者は、珍しい京料理を賞でながら、ほろ酔い気分で予科入学時からの昔話に花を咲かせた。やがて、多胡会長の閉会挨拶と明年の再会を願って、無事懇親会はお開きになった。なお、総会終了後同所で13名の“顔”が揃った記念写真が写された。

出席者名(順不同、敬称略)

吉田 浩夫妻、阿部和雄、今井豊亨、小汲喜郎、大御雅文、押尾良悦、小池将浩、多胡 彬、西村七郎、西山 巖、見明 清、山本勝一

(山本勝一 記)



紙面の都合により一部順序入れ替えております

## いずみ会

昭和23年卒

今年の総会は11月19日、20日帝国ホテルで催されますが、その模様は後日報告します。さて、このところクラス会だより欄から遠のいておりますので総会2回の記録を遅ればせながら記載させていただきます。

第60回総会は平成19年11月15日(木)若者の熱気溢れるアクアシティお台場のだ真中ホテル日航東京で行いました。JR新橋駅から新交通ゆりかもめで台場駅直結。前回会場とレインボーブリッジを挟んで対称的なロケーションでした。総会場はサンセットテラスで物故会員・西條、萩原、森、館山、清水、有馬諸兄のご冥福をお祈りしました。次いで懇親会は正面にライトアップされたブリッジを借景に盛会でした。

翌16日の観光はほとんどのバスでゆったり、ゆっくり。最初に人気スポットフジテレビ本社を見物、その後「歯科医学教育発祥之地」に向い港区三田4丁目の伊皿子交差点で下車。そこは言わずと知れた本学発祥の地で平成10年2月記念碑が建立され、碑文には「高山紀齋は米国留学で得た理想を基にここ東京芝区伊皿子町70番地に明治23(1890)年1月、わが国最初の歯科医学校として高山歯科医学院を設立した。云

云。この地に端を発した近代歯科医学教育の精神は以来百有余年脈々と今日に引き継がれている。」と標されています。一同は平成22年創立120周年を迎える母校のますますの繁栄を願いながら伊皿子坂を下り忠臣蔵ゆかりの泉岳寺に寄りました。再びバスで愛宕山に登り大正14年ラジオ本放送開始の地を訪れNHK放送博物館を見学しました。昼食は赤坂璃宮銀座店で広東料理の名菜を楽しみました。

最後は一大名所東京タワー見物です。昭和33年戦後首都復興のシンボルとして開業した高さ333mの電波塔で半世紀を経ても年間300万を超える観光客で賑わっています。午後4時近く東京駅丸の内口で解散しました。なお、参加者は、石田夫妻、岸田、黒河夫妻、小山、近藤夫妻、重原、杉山、近常、永田、林、秀、福岡、三宅、山岸、横田夫妻の諸兄姉と中久喜夫妻でした。

第61回総会は卒業60周年の節目の年に当たりましたのでいささか趣向をかえて、まずは江戸の風情漂う下町浅草の旅籠に集い、宴席では江戸時代の大尽遊びの粋な一齋を楽しんでいただきました。平成20年11月13日(木)助六の宿貞千代の談話室

で総会、藤沢、岡村、浅井(政)、立原、矢島諸兄のご冥福をお祈りしました。次いで大広間で懇親会は開宴。振袖姿のお嬢さん達(振袖さん)の舞りとお酌で宴酣の酒席に飄然とお出まは幫間、太鼓持ちの頭桜川米七師匠でした。かつてはお江戸吉原や岡場所座を盛りあげた男芸者とも言われたユニークな芸人ですが今では浅草にいや全国で4人しか居ない存在とのこと。1枚の屏風や襖を使ったお座敷芸は方に嬌艶、ほかでは見られない秘芸です。更に今回は福岡君の愛嬢元タカラジェンヌで雪組トップスターの絵麻緒ゆう(現芸名えまお)さんと秘書の元月組副組長光樹すばるさんが特別参加、美声をご披露して下さいました。明るく14日は昭和20年3月10日未明の東京大空襲で焼失後再建され、落慶50周年を迎えた金竜山浅草寺本堂に詣り、逝去された87名の旧友と先立たれた奥様方並びに恩師諸先生の霊位のご回向と併せて会員諸兄の長寿息災、家内安全をご祈禱いたしました。

その後は江戸の盛り場浅草の奥山を再現した風景など浅草大観光祭の賑わいを見物、雷門から観光人力車に搭乗して30分コースを体験しました。一行はタクシーに分乗、上野の杜東叡山寛永寺を訪ねてから不忍池畔高台の上野精養軒で昼食を取りました。当軒は明治5年創業のフランス料理の草分け、ゆっくりと伝統の味を楽しんだあとは名残りを惜しみつつ自由解散となりました。

参加者は、岸田、黒河夫妻、小山、近藤、重原、杉山、近常、永田、野村夫人、林、秀、平野、福岡、三宅、山岸、横田夫妻の皆さんと中久喜夫妻でした。

(中久喜 喬 記)



## 八 紫 会

昭和35年卒

10月10日、近づく強力な台風にはらはらしながら全国から集まるこの日を迎えた。夕方、京都八坂神社すぐ隣の宿、畑中に懐かしい顔が続々、総勢25名。総会前には貸しきり状態の大風呂ではにぎやかなこと、まるで修学旅行の様だった。総会は、櫻井君の挨拶の後、亡くなられた恩師、会員に黙祷をささげた。ついで、春原君の会計報告、橋詰君による会員の近況等が伝えられた。大病を克服して、元気に出席した久野君の乾杯の音頭で、宴は始まった。祇園舞妓、芸子の入場で一気に華やかになり、京料理を味わいながら、舞妓芸子の舞やお茶屋遊びを楽しんだ。2時間あまりの宴の後、一

部屋に総勢集まり、歓談は夜半まで続いた。酒代は予算オーバー。

翌日、年のせいか皆早起きで、7時半にはもう朝食、9時にはそれぞれが京の町へ。10時半、現存する木造門としては、世界最大級の知恩院三門前に集合、特別拝観。三門の中のものすごい急階段を、ロープや手摺にすがりながら登った。

内部に入って驚いた、厳粛な空間に、釈迦牟尼佛とその弟子羅漢が居並び、われわれも自然と居ずまいを正して、僧の説明に聞きいった。外廊からは京の町を眼下に、南禅寺の山門の石川五右衛門よろしく、絶景を楽しんだ。ついで一般公開されていない知恩院奥の院の七不思議を案

内僧の名解説を聞きながら拝観した。皆満足してくれてほっと一安心。

昼食は、北山、大文字山のふもと〈しょうざん〉でもう一宴会。おいしい中華料理を満喫、4時京都駅にてそれぞれの地へ。今年も年一回のタイムスリップの終わりを告げた。八紫会の出欠のはがきで、お返事をいただいた中でも、闘病中の方、今体調不良との便りもありました。

皆々元気でいてほしい、元気になってほしい。久しぶりの皆様、来年は卒後50年、それをめざして体調管理をし、参加してください。お会いできるのを楽しみに、50年の時空を飛び越える奇跡の時間、みんなが待っています。

(岸 健・淑子 記)



## 飛 翔 会

昭和46年卒

『やあ、久しぶりだね。全々変わっていないじゃないか』本音とは裏腹な語りかけ。『すっかり白く薄くなっちゃって』と、そのものずばりな挨拶。『やあやあ』と挨拶した後でこっそり隣りにいる人に『あいつ誰れだったっけ』、『ほらあいつだよ、あれあれ、何んと言ったっけ』となかなか名前が昔の様には出てこない。

卒業以来40年にもならんとする日々の流れが無遠慮な言葉をも飲み込もうともせず、口に出てしまう。遙か昔の面影を頼りに記憶を蘇らせる面々。学生時代を共に過ごし

た仲間ということで、この上ない懐かしさが、思い出が、明日への生きる新たな力となって降り注いでくる様な語らい。

歯科界の荒波をも見事に乗り越え、逞しく生きてきた証しでもある“シミ”“シワ”が、これまた見事に顔に深く刻みこまれている仲間達が“天地人”今夏の“熱闘甲子園”で、県の名声を高めた？新潟の地に50名集合したのは、平成21年10月11日のことであった。当日、翌日も幸い天気めぐまれ、遠路ツーリングで参加する程の友の若さには、びっくり。

わずか一日足らずであったが、集まった面々の気のおけぬ友とともに過ごしたおだやかな日々を思い出し、今なお衰えぬ元気、熱気に圧倒された一夜であり、元気をもらったひととき。

話尽きぬ一次会、二次会、そしてそれでも足りない面々は部屋での年を忘れた三次会。いつの間にか稲刈も終わった越後平野の澄みきった秋本番の星空も明け皆それぞれの目的地に向け飛翔。

参加した面々は新潟の銘酒、日本海の幸を啄み何かを落して行った様。『フーン』（滝沢裕夫 記）



## 八十二期会

昭和52年卒

平成21年10月11日(土)、石川県のホテル百万石にて同期会を開催いたしました。参加者は、18名と少人数でしたが、北は秋田、南は鹿児島と各地より参集いたしました。今回は、温泉地での開催という事からか女性の参加者が6名と多く華やかな雰囲気でした。総会にて、岡野君を会長とする新執行部が選出され、今回の同期会は、2年後をめどに千葉校舎の近隣にて開催ということになりました。

場所を変え女性陣を上座に据えて宴会が始まりました。各自の近況報告を行いました。今年ガンの手術をしましたという方が居り、健康に気を付けなければいけない年になったという事を改めて感じました。

2次会は、スポットライトに照ら

された立派なステージ付きの百名以上収容可能なホールに我々グループで独占という状態で、カラオケ大会で盛り上がりました。最後に全員でステージ上にて24時間テレビさながらに肩を組み『サライ』を歌って閉めました。その後、小腹が空いたと言ってラーメンを食した一団も居り、その健啖ぶりに感嘆いたしました。

ここでお開きと思いきや、女性陣の部屋が特別室なので、見学したいと酔った勢いで言うご仁が居り、女性陣もOKということでしたので、有志が厚かましくも部屋に上がり込みビールまで頂く始末、さすがに午前声を聞くに及んでお開きになりました。

翌日は、今回はゴルフはなしとい

う事で、各自朝食後目的地へと向かいました。観光組6名は、バスに乗り込み金沢に向かいました。ひがし茶屋街にて抹茶を頂き、次に兼六園を見学、昼食は料亭『杉の井』にて庭の見える個室にて金沢料理を味わいました。お勧めの日本酒が4種類あるとのことで、利き酒をいたしました。お店の方が気を利かせて御猪口、御銚子も4種類揃えて頂き楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

午後は、金沢城内に復元された五十軒長屋を見学いたしました。櫓の最上階に昇る急こう配の階段は、還暦が近い身には堪えました。観光は、これで終了、金沢駅にて解散ということになりました。一人ですべてを取り仕切った幹事の室橋君ご苦労様でした。(小宮山能康 記)



## 杖痕クラブ還暦祝賀会

昭和40年の春を感じるにはやや早いという3月、第1回の杖痕クラブ還暦祝賀会が志賀高原発晴の杖痕ヒュッテで行われ、昭和3年卒の片岡銀雄、千野純次、4年卒の小泉徳蔵の3氏らが該当しクラブマークを刺繍したワッペン付きの真っ赤なセーターが各自に贈られ、昭和53年以後はこの時に祝賀スキー競技大会が開催されるのが恒例となった。

しかし、残念ながらヒュッテがなくなった今年は、箱根を会場とし、9月12日(土)に箱根強羅温泉の宿『文の郷』で行われた。それでも集まった者全部で21名、中には登山鉄道の途中風祭駅から宿までの上り坂を走ってきた猛者もいた。出席者は正木、小山田、中西、佐々木、大塚、依田、野間(弘康)、鈴木、山口、朝浪、加藤、穂積、朝波、福嶋、本多、森田、茂木、大鶴、

野間(太郎・智子・子供)の21名。今回の還暦該当者は本多哲郎、森田芳和、福嶋修治の3君で、それぞれに愉快的祝辞と共に恒例の記念の赤いセーターが贈られた。久しぶりの会合に、学生時代の苦渋の山行も今は生きていて良かったという、懐かしい若さのぶり返して大声で山岳部部歌を唄いながらの大宴会となったが、酔うにまかせて自室に戻れないで寝込む者もいた。

翌13日は曇りだったがまあまあ天気、他の用事で早く下山した数人もいたが、残りは登山道を登り始めた。あまりにも年齢差の大きい団体なので、いつでも途中でリタイアするのも自由と言う事だったので、4、5人は行動組を離れて、皆を見送った後、電車で下山した。

計画されていたルートは箱根山塊最後の爆発で形成されたこの地区最

高峰の神山を目指すルートで大涌谷駅から歩き始め、稜線の大涌谷分岐部で3名が下山、富士山眼前の好天気の中を神山を経て駒ヶ岳山頂駅へと歩き、駒ヶ岳ロープウェイで芦ノ湖登り口駅で一応解散となった。全行程約3時間を要した。

こうして1932(昭和7)年7月9日創立以来77年を経た杖痕クラブのこれからは、どこへどうやって引き継がれて行くのか、それぞれの思いを今後の発展に期待を寄せて再会を祈念して別れていった。

(正木光児 記)



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。

## MLS OB 会開催される

去る10月17日に目黒ライブハウス「バンバンG」においてOB会が開催されました。遠くは北海道、広島などからOB、OGのみなさまがお集りくださいました。昭和54年卒黒河さんの乾杯のあいさつに続きいよいよ演奏が始まりました。現在、歯科大生バンドとして話題のGreenの「キセキ」やEaglesの「Peaceful easy feeling」など20曲ほど演奏いたしました。3時間ライブハウスを貸し切りにしましたが「しばしご歓談を」の時間もなく誰かが何かの音楽を奏でておりました。みなさん現役時代と変わらずもしくはさらにみがきのかかった演奏技術を披

露いたしました。

当日の様子は下記のアドレスのOB会ホームページ上で写真と音でお楽しみいただけますが、アクセスするにはIDとパスが必要です。

<http://homepage2.nifty.com/toushimls/>

IDとパスはご案内の往復はがきもしくはお知らせの電子メールに記載してありますが、忘れた方へヒントは全部鋳造冠セット、補綴物維持管理です。

(昭和60年卒 宇梶常幸 記)



## OB 合唱団第37回演奏会

残暑が残る平成21年9月27日(日)、東京歯科大学OB合唱団第37回演奏会が東京八重洲にある「東京建物八重洲ホール」において開催されました。かつては2年毎に定期的に開催していた演奏会も今回は3年ぶりの開催となりました。当日は天候にも恵まれ、大勢の来場者の中、3年間の練習の成果を披露することができました。

演奏会は、全団員がステージに立つ中、OB合唱団代表 首村泰永先生(昭和42年卒)からご来場頂いた皆様へご挨拶の後、開幕しました。OB合唱団の美声(?)をまとめる指揮は、OB合唱団常任指揮者 谷 茂樹氏、またピアノ伴奏は林下 優氏にお願いしました。

曲目は、「椰子の実」、「浜辺の歌」など懐かしい唱歌、北原白秋作詞、多田武彦作曲による男声合唱組曲「白き花鳥図」から「黎明」、「白鷺」などの本格的な合唱曲、また1980年、90年代の大ヒット曲であった「昴」、「少年時代」、さらに1950年代に活躍したアメリカのコーラスグループ「The Platters」により歌われ大ヒット曲となった「Only You」や「Smoke Gets in your Eyes」など全12曲です。

さらに今回の特別企画として、団員の佐藤健司先生(昭和46年卒)のお嬢様によるフルート独奏並びに齋藤 正先生(昭和54年卒)のお嬢様とご友人によるサクソフォーン

四重奏があり、プロによる本物の音色は、来場者を魅了するものとなりました。

ステージと客席が一体化した本ホールの特徴が功を奏し、約1時間30分のステージも終始和やかに進行了しました。最後に小池平一郎先生(昭和46年卒)から御礼のご挨拶があり、来場者とともに「大地讃頌」の大合唱で演奏会は幕を閉じました。

演奏会終了後、場所を「東京八重洲ターミナルホテル」に移し、懇親会が催されました。懇親会ではOB、OGをはじめ団員家族など多数が参加し、ワインと料理を楽しみながら、時間の許す限り歓談していました。終始和やかに懇親会が進む中、参加者全員で「市川逍遙歌」を

合唱し、記念撮影の後、次回の演奏会の開催を約束し、お開きとなりました。

今回の演奏会に向けての活動は、毎月の練習と年1回の合宿です。練習は市川駅前の青山 悟先生(昭和49年卒業)が所有されているスタジオで行いました。しかし練習日といえども、全員が顔を合わせることは数回のみという極めて不安な状況の中で演奏会を迎えました。

近年OB合唱団の平均年齢が年々増加の一途をたどっておりましたが、今回、平成21年3月に卒業した西須大徳君が約10年ぶりの新入団員として活躍してくれました。今後のますますの活躍と若い団員の増加を望むところです。

(久保周平 記)



# すいどうぼし

## 頑張れ！川口，（川口衆議院議員誕生）

片山 隆（昭和54年卒）

弥生会（昭和54年卒）から国会議員が誕生した。

7年前、彼が茨城県議会議員に立候補すると聞いたとき、同級生はみな半ば呆れ顔だった。初選挙で即当選とは、なんと運のいいやつだ。7年前といえば、日韓ワールドカップが開催され、小柴さん、田中さんがノーベル賞を受賞した年だ。政治の



世界では、田中真紀子外務大臣が更迭され、小泉首相が北朝鮮へ行き金正日総書記に拉致を認めさせた年だった。介護保険制度が始まって2年目、そのとき彼は取手で開業し、歯科訪問診療を実践していた。県議会を足がかりにいずれは国政にと言っていたときは、いつの間にか2期目の議員になっていた。歯科医師と議員を両立させて真剣に取り組む姿勢は、万人の評価するところもなった。そして今年の夏、民主党への風が吹いた。満を持して衆議院選挙に挑むこととなり、見事当選した。

当選の翌日、彼からメールが届いた。「皆様には茨城県議会議員として7年弱にわたりお世話になりまし

た川口 浩です。このたびは小沢一郎の後援会であります茨城一新会をはじめ皆様の力強い、ご指導、ご支援により、民主党北関東比例区より名簿に登載いただきました。今までの県議会での経験と、歯科医師・介護支援専門員としての現場で感じた思い、皆様の声を生かしながら、『国民の生活が第一』の政治の実現に取り組ませていただきます。自公連立政権によって失われてしまった、ケジメと思い遣りを取り戻し、誰もが素直に『ありがとう』、『ごめんなさい』と言えるような日本の姿を復活させたいと思います。明日は今日よりすばらしい日になると思うことが出来ますように尽力いたします。今後とも何卒、よろしくご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

平成21年8月31日

元茨城県議会議員 川口 浩

2週間後、「川口 浩の新しい出



発に際して、ご一緒に初登院をさせて頂きたくご案内申し上げます。」とのメールがあり、学生時代謡曲部で一緒だった家内が、彼の一世一代の晴れ姿を応援しようと、国会議事堂まで出かけていった。この日はまさに秋晴れの清々しい朝で、そのときの晴れがましい彼の姿がこれだ。頑張れ同級生!!

10月26日は初の本会議で、議場での座席は大臣席の近くだから居眠りできないな一とって、彼らしく胸を張って国会議事堂の中へと向かっていった。



## 異色の友，元国会議員 故 浅井美幸君を偲んで

いづみ会 福 岡 明（昭和23年卒）



平成21年10月4日早朝，浅井美幸君の訃報が入った。久しく歓談の機会を逃し，まだまだ御家族と余生を楽しんでいると思っていたのに残念至極である。

彼は卒業後，開業歯科医として12年，其の後創価学会池田大作現名誉会長の推薦にて同学会の中樞にて活

躍し，大阪府議会議員を経て，衆議院議員を昭和42年から連続九期，平成5年まで努め，公明党副委員長として活躍された異色の学友である。平成3年には衆議院議員に在籍25年表彰を受け，国会には彼の肖像画が飾られている。叙勲の話もあったが，彼はこの荣誉は友人知己・支援者の方々とのお陰で個人としては頂けないと辞退した。因みに父君も母校出身の参議院議員であった。

学生時代は，ピンポン部の代表としてスポーツマンシップを発揮しただけに，国会に入ってから，その秀麗な容姿と活動から“国会の貴公子”とまで言われた。

今でこそ自公連立政権もできていたが，当時は公明党と自民党とは犬猿の仲であったため，母校出身の自民党の鹿島俊雄，井上 裕，そして関口恵三という三先生が国会で活躍されており，歯科医師会や同窓会でも華々しく紹介されていたが，当時

の風潮から公明党の彼の活躍は何一つ記事にもされていなかった。それではと当時，郵政大臣の鹿島俊雄先生と柳橋の料亭亀清楼にお招きして浅井君と歓談の機会を持っていた。歯科界のため公明党と自民党が固い握手を交わしたのである。

議員在職中，クラスメートには国会見学などの機会を与えてくれたり，歯科社会の向上の為の御尽力は周知のことである。

平成14年愛妻系子さんが御他界になられてからは急に元気がなくなり，クラスメートとも疎遠になってしまった。

晩年は，親孝行な御子息夫妻と，充実した余生を送り，そして愛妻の許に旅立って行った。彼の生前に残した素晴らしい業績は末永く語り継がれるであろう。謹んでご冥福を祈る。 合掌

---

## これってなあに

根 本 有 一（昭和62年卒）

今年1月に脳溢血で仕事中に倒れましたが，リハビリで頑張ったのか大分記憶も戻ってきました。20年前のTDC 稲毛の話です。幕張あたりをドライブしていると，放送大学というものがありました。何かなあと思ったのですが中に入ることなく通過してました。今のように，ホームページがあるわけでもなく内容を知

ることができませんでした。

なにげなく今になって放送大学のHPを見ていると，内容がわかりました。特に気にいったのは裁判のコーナーでした。わかっているのですが他人が発言してくれると内容が理解でき確認できるのです。今思うと興味がわいたのでHPをみたのだと思います。やっと理解できまし

た。番組の中で興味があったのは，特許とか裁判でした。省庁に行くと思っていたより丁寧に教えてくれました。日比谷で降りると結構いろいろと省庁があるので勉強になりました。

特に入院中にベッドで思い出したのは昔の話です。高校時代の話とか黒澤明監督で志村 喬が主演の「生

きる」でした。何度も、この歌を口ずさんでました。「命とおとし恋せよ乙女」ブランコにのって口ずさんでいるのです。住民が役人に公園を作ってと言うのですが取り合ってもらえません。あちらこちらたらい回しされるのです。再放送で、白黒映画の作品でしたが時代を読んでいたのかいつ見ても良い作品です。

なぜだか、進学時代・専門時代・臨床時代を思い出していました。入院していた病院が白衣を着ていてTDCに近かったのだと思います。皆、白衣を着ているからかも知れま

せん。入院中も先輩たちがお亡くなりになる中そう思ったのかも知れません。その先輩の分も自分は生きなくてはと思い頑張っていました。そのかいもあり今はだいぶ良くなりました。

脳にダメージを受けると昔のことを思い出すようです。幼稚園・小学校・中学校・大学時代を思い出しておりました。自分ではどれも無駄が無いと思っています。どれも良い思い出です。

このような時代でも始まりだと思っ

より立派な人がいっぱいいるのです。天文学者のカール・セイガン、著書「五体不満足」乙武洋匡みんなハンディを持っています。障害者の言葉によれば、ハンディを持つことにより専門に集中できるそうです。英語では、CHALLENGED 日本語では障害者ですが、国により考えがかなり違うようです。

教わったことを無駄にはできません。毎日が勉強。偉い人ほどいう言葉です。世の中に完成など無いのです。自分もいつかは言えるように頑張ろうと思います。

## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 24 卒	浅井美幸 (82歳)	21. 10. 4
大阪府支部	〒532-0002 大阪市淀川区東三国1-7-10	
●昭 11 卒	安藤 薫 (95歳)	21. 10. 7
南信支部	〒395-0015 飯田市江戸町4-273-3	
●昭 31 卒	杉村 孝 (77歳)	21. 10. 10
苫小牧支部	〒053-0022 苫小牧市表町5-6-7-801	
●昭 19. 9 卒	前川 寿郎 (86歳)	21. 10. 11
南信支部	〒394-0024 岡谷市堀ノ内2-4-12	
●昭 19. 9 卒	宮坂保男 (87歳)	21. 9. 26
埼玉県支部	〒335-0022 戸田市上戸田2-33-19 高堀様方	
●昭 23 卒	土屋 謙一 (83歳)	21. 10. 17
静岡県支部	〒414-0027 伊東市竹の内2-4-20	
●昭 52 卒	小島建二郎 (58歳)	21. 10. 16
茨城県支部	〒310-0024 水戸市備前町5-12	
●昭 50 卒	安村 泰一 (60歳)	21. 10. 18
大阪府支部	〒587-0051 堺市美原区北余部37-13	
●昭 39 卒	河内 隆男 (71歳)	21. 10. 17
新潟県支部	〒940-2306 長岡市脇野町2136	
●昭 26 卒	榎田 正巳 (80歳)	21. 10. 15
板橋支部	〒174-0063 板橋区前野町4-41-6	
●昭 18. 9 卒	小林 正一 (88歳)	21. 10. 19
福島県支部	〒970-8026 いわき市平字愛谷町2-4-3	

- 昭 26 卒 中 村 正 (86歳) 21. 10. 21  
秋田県支部 〒010-0877 秋田市千秋矢留町1-16
- 昭 36 卒 黒 柳 錦 也 (73歳) 21. 10. 24  
芝 支 部 〒108-0074 港区高輪3-4-7
- 昭 62 卒 大 橋 雅 人 (47歳) 21. 10. 24  
岐阜県支部 〒500-8409 岐阜市幸ノ町1-18-1-203
- 昭 40 卒 平 岡 久仁夫 (71歳) 21. 10. 25  
静岡県支部 〒427-0029 島田市日之出町4-3
- 昭 19. 9 卒 川 上 晃 (85歳) 21. 10. 20  
長崎県支部 〒859-6101 北松浦郡江迎町長坂免145
- 昭 16 卒 木 本 克 巳 (92歳) 21. 10. 20  
岡山県支部 〒703-8276 岡山市門田屋敷本町1-2
- 昭 14 卒 長 嘉 儀 (92歳) 21. 10. 22  
川 崎 支 部 〒211-0025 川崎市本月1-28-3
- 昭 16 卒 萩 原 貞 雄 (90歳) 21. 10. 14  
兵庫県支部 〒655-0004 神戸市垂水区旭ヶ丘3-15-43
- 昭 16. 12 卒 鄭 麟 蕃 (90歳) 21. 11. 2  
海 外 中華人民共和国 北京医科大学口腔医学院
- 昭 18. 9 卒 関 川 嘉治郎 (89歳) 21. 11. 9  
新潟県支部 〒959-1822 五泉市緑町5-35
- 昭 16. 12 卒 山 口 貢 (88歳) 21. 11. 9  
岡山県支部 〒700-0026 岡山市奉還町1-12-10
- 昭 15 卒 蔵 野 英 雄 (91歳) 21. 11. 9  
茨城県支部 〒311-1203 ひたちなか市平磯町1161
- 昭 15 卒 遠 藤 忠 衛 (90歳) 21. 10. 29  
大 森 支 部 〒146-0083 大田区千鳥2-4-7
- 昭 16. 12 卒 大 泰 司 正 信 (91歳) 21. 11. 12  
広島県支部 〒722-2432 因島市原町1424
- 昭 19. 9 卒 有 馬 良 治 (93歳) 21. 11. 17  
兵庫県支部 〒661-0002 尼崎市塚口町1-22-1-405
- 平 12 卒 鶴 木 太 郎 (35歳) 21. 11. 17  
千葉県支部 〒272-0021 市川市八幡1-19-13
- 昭 31 卒 岩 田 淳 (79歳) 21. 11. 17  
愛知県支部 〒461-0043 名古屋市東区大幸4-19-26
- 昭 20. 9 卒 栗 田 春 海 (86歳) 21. 11. 16  
静岡県支部 〒271-0087 松戸市三矢小台2-16-12 森本歯科医院
- 昭 12 卒 新 正 夫 (96歳) 21. 11. 25  
石川県支部 〒929-0224 松任市西柏町7-13
- 昭 15 卒 江里口 健 二 (91歳) 21. 12. 3  
芝 支 部 〒156-0043 世田谷区松原6-22-8
- 推 薦 深 山 實 (95歳) 21. 12. 6  
福岡県支部 〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-25

## ◆投稿規定

### (1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

### (2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

### (3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3

段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

### ③ 「追悼」は、500字程度

- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

### (5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧下さい。

## ◆へんしゅうこうき

★ 「継承と発展」をメインテーマとした創立120周年記念祝賀会の参加申込要領が掲載されています。先着順、ハガキでの申込とのこと。お早めにお申し込み下さい。

★ 「すいどうばし」には奇しくも故浅井美幸元衆議院議員追悼文と「頑張れ！川口(川口 浩衆議院議員誕生)」という投稿が並ぶことになりました。かつて評議員会終了後には井上 裕先生、関口恵三先生、浅井美幸先生三後援会が熱田後援会長(現東京歯科大学理事長)のもと開かれていましたが、浅井先生のご逝去で三人とも故人となりました。これからの川口 浩衆議院議員には期待するところ大きいものがあります。我々も「頑張れ！」と応援しましょう。

★ ところで先日血協ホールにて開催された卒研フォーラムで大久保日本歯科医師会会長、石井千葉病院長、中川勝洋東京歯科保険医協会会長のお話を聞きました。「歯科の現状を打破するためにはこれまでの経緯、歴史を知らなければその出発点にも立てない。勉強なさい。」というメッセージと私は受け取りました。

★ 「和衷協同」という言葉は大山会長が就任した当時必ず挨拶に引用された言葉です。「心の底から打ち解けて共に力を合わせること。」という意味はもうご存じのことと思います。11月の評議員会で大山会長が再任されました。同窓の心を合わせ協力することはこれからも同窓会の課題になっていくと考えます。12月で二年の任期が終わります。会員の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

(三友 和夫 記)

### 広報部委員会

委員長  
委員

小林 伯男  
内山 健志  
林 量一  
東郷 幹夫  
白田 準  
小池 修  
尾崎 圭子  
福井 雅之

広報部担当理事

三友 和夫

平成21年12月20日 印刷

平成21年12月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第373号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 三 友 和 夫

編集人 小 林 伯 男

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)

# 平成21年度 評議員会・定時総会

## (報告)

平成21年11月28日  
於 如水会館

### 平成21年度東京歯科大学同窓会評議員会 (午前10時00分～午後3時45分)

- |  |                            |  |
|--|----------------------------|--|
| 1. 開会の辞  | 第8号議案                      | 東京歯科大学同窓会共済規程一部変更を求むるの件                                |
| 1. 点呼  | 第9号議案                      | 平成22年度 事業計画  |
| 1. 会長挨拶  | 第10号議案                     | 平成22年度 入会金(現行本学出身の会員5,000円, 推薦会員50,000円)               |
| 1. 来賓挨拶  | 第11号議案                     | 平成22年度 会費(現行18,000円)                                   |
| 1. 議長, 副議長選出   | 第12号議案                     | 平成22年度 経常部収支予算   |
| 1. 議事録署名人指名  | 第13号議案                     | 平成22年度 共済負担金(現行3,000円)                                 |
| 1. 黙祷  | 第14号議案                     | 平成22年度 特別会計収支予算<br>(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金) |
| 1. 報告  | 第15号議案                     | 平成22年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支予算                       |
| (1) 平成21年度 会務報告  | 第16号議案                     | 平成22年度 時局対策費積立金会計収支予算                                  |
| (2) 平成21年度 会計現況報告  | 第17号議案                     | 役員改選   |
| (3) 東京歯科大学の現況報告  | 1. 協議                      |  |
| ① 水道橋移転と大学の現況について  | (1) 同窓会の現状と将来について          |  |
| ② 水道橋移転と学生教育の現状について  | (2) 同窓会の機構改革               |  |
| 1. 議事  | ① 事業部について                  |  |
| 第1号議案 平成20年度 経常部収支決算   | ② 執行部役員について                |  |
| 第2号議案 平成20年度 特別会計収支決算<br>(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金) | ③ 評議員会のあり方について             |  |
| 第3号議案 平成20年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支決算                       | ④ 東京歯科大学同窓会緊急時歯科医師委嘱制度について |  |
| 第4号議案 平成20年度 総合政策費積立金会計収支決算                                  | ⑤ その他                      |  |
| 第5号議案 平成20年度 財産目録<br>(監査報告)                                  | 1. 叙勲, 褒章受章者顕彰式            |  |
| 第6号議案 財産(備品)廃棄処分   | 1. 同窓会会長賞表彰式               |  |
| 第7号議案 東京歯科大学同窓会会則一部変更を求むるの件                                  | 1. 閉会の辞                    |  |

### 第115回東京歯科大学同窓会定時総会 (午後3時55分～午後4時35分)

- |   |  |  |
|---|--|--|
| 1. 開会の辞   | (同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金)    |  |
| 1. 会長挨拶   |  |  |
| 1. 議長, 副議長選出  | 第3号議案 平成20年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支決算 |  |
| 1. 議事録署名人指名   | 第4号議案 平成20年度 総合政策費積立金会計収支決算            |  |
| 1. 報告   | 第5号議案 平成20年度 財産目録<br>(監査報告)            |  |
| (1) 平成21年度 会務報告   | 第6号議案 財産(備品)廃棄処分                       |  |
| (2) 平成21年度 評議員会報告   | 第7号議案 東京歯科大学同窓会会則一部変更を求むるの件            |  |
| (3) 平成22年度 経常部, 特別会計, 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金, 時局対策費積立金会計収支予算 |  |  |
| 1. 議事   | 1. 協議                                  |  |
| 第1号議案 平成20年度 経常部収支決算  | 1. 閉会の辞                                |  |
| 第2号議案 平成20年度 特別会計収支決算                                       |  |  |

平成21年度東京歯科大学同窓会会務報告

(自 平成20年10月1日)  
(至 平成21年9月30日)

1. 現在会員数	9,107名	26日(日)	卒後研修セミナー〔ベーシックセミナー(No.6 パーシャルデンチャーをもう一度学ぼう～設計の秘訣～)〕
内			
名誉会員	30名		
共済負担金免除会員	723名	27日(月)	学術部委員会(企画会議)
高齢会員	556名	29日(水)	学術部委員会(研究部委員会)
不明会員	745名	11月2日(日)	東歯祭 大山会長出席
2. 会員の移動		4日(火)	学術部委員会(プログラム委員会)
新入会員	140名	5日(水)	総務部委員会
(本年度卒業生	127名)	7日(金)	渉外部委員会
(他	13名)	8日(土)	学術部委員会(運営委員会)
逝去会員	118名	9日(日)	卒後研修セミナー〔卒研フォーラム(No.7 患者さんの健康を支援する～歯科医師のできること歯科衛生士にできること～)〕
退会会員	2名		
3. 会議			
評議員会	1回	10日(月)	学術部委員会(将来像検討委員会)
定時総会	1回	11日(火)	広報部委員会(会報編集)
東歯関係日歯役員・代議員、都道府県歯	2回	12日(水)	学術部委員会(プログラム委員会)
会長と同窓会役員懇談会		13日(木)	六歯科大学歯学部校友会同窓会懇話会 大山会長、鳴神囑託出席
地域支部連合会主催学術講演会等	10回		
学術講演会講師派遣	26回	15日(土)	北海道地域支部連合会卒後研修会 講師・阿部二郎氏(東京都開業)
理事会	5回		
常任理事会	7回	18日(火)	学術部委員会(プログラム委員会)
監査会	1回	19日(水)	芝支部学術講演会 講師・関根秀志准教授(母校)
各種委員会	160回		
卒後研修セミナー	7回	21日(金)	第6回理事会
4. 役員出張	61回(93名)	22日(土)	平成20年度評議員会・総会
5. 支部数	109支部	23日(日)	近畿地域支部連合会総会(大阪府支部担当)
6. 地域支部連合会数	11地域支部連合会		
北海道地域、東北地域、関東地域、東京地域、			大山会長、神谷副会長、小室理事出席
信越地域、東海地域、北陸地域、近畿地域、			学術講演会 講師・川口 充教授(母校)
中国地域、四国地域、九州地域		25日(火)	学術部委員会(企画会議)
7. 会務報告		25日(火)	保険部委員会
平成20年		26日(水)	情報部委員会
10月1日(水)	学術部委員会(運営委員会)	26日(水)	厚生部委員会ゴルフ大会委員会
6日(月)	六歯科大学歯学部校友会同窓会懇話会 大山会長、関専務理事、鳴神囑託出席	29日(土)	熊本県支部総会 江崎副会長出席 学術講演会 講師・井上 孝教授(母校)
9日(木)	学術部委員会(運営委員会)	29日(土)	島根県支部総会 神谷副会長出席 学術講演会 講師・加藤広之講師(母校)
10日(金)	広報部委員会(会報企画)		
11日(土)	第5回理事会	30日(日)	東信支部総会 学術講演会 講師・糸田克巨氏(神奈川県開業)
15日(水)	厚生部委員会		
18日(土)	全国歯科大学同窓・校友会懇話会 大山会長、柳副会長、宮地理事出席	12月1日(月)	学術部委員会(プログラム委員会)
18日(土)	九州地域支部連合会総会(福岡県支部担当) 江崎副会長、関専務理事、濱田理事出席	2日(火)	広報部委員会(会報企画)
22日(水)	情報部委員会	3日(水)	学術部委員会(プログラム委員会)
25日(土)	学術部委員会(運営委員会)	4日(木)	厚生部委員会
		4日(木)	父兄会役員・大学幹部との懇談会 大山会長出席
		6日(土)	山梨県支部総会 関専務理事出席

- 6日(土) 学術講演会 講師・原田 清氏(山梨大学医学部歯科口腔外科教授)  
 東京地域支部連合会総会  
 大山会長, 中島理事出席  
 6日(土) 愛媛県支部総会 宮地理事出席  
 学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)  
 7日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会  
 服部副会長出席  
 学術講演会 講師・井出吉信教授(母校)  
 7日(日) 茨城県支部総会 片倉副会長出席  
 学術講演会 講師・吉成正雄教授(母校)  
 7日(日) 千葉県支部総会 柳副会長出席  
 7日(日) 愛知県支部総会 神谷副会長出席  
 学術講演会 講師・千葉光行氏(千葉県市川市長)  
 8日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)  
 9日(火) 大学支部総会  
 10日(水) 第5回常任理事会  
 11日(木) 情報部委員会  
 13日(土) 学術部委員会(全体委員会)  
 13日(土) 神奈川西湘支部総会  
 学術講演会 講師・金子 譲教授(母校)  
 14日(日) 栃木県支部総会 大山会長出席  
 学術講演会 講師・平井義人教授(母校)  
 14日(日) 静岡県支部総会 神谷副会長出席  
 学術講演会 講師・山根源之教授(母校)  
 20日(土) 大森支部総会 大山会長出席  
 22日(月) 学術部委員会(企画会議)  
 平成21年  
 1月9日(金) 千代田支部新年会 大山会長出席  
 9日(金) 学術部委員会(運営委員会)  
 13日(火) 広報部委員会(会報編集)  
 13日(火) 学術部委員会(運営委員会)  
 14日(水) 学術部委員会(研究部委員会)  
 15日(木) 学術部委員会(運営委員会)  
 17日(土) 第1回理事会  
 17日(土) 東京地域支部連合会新年交換会  
 大山会長出席  
 19日(月) 情報部委員会  
 20日(火) 学術部委員会(将来像検討委員会B)  
 21日(水) 学術部委員会(運営委員会)  
 23日(金) 芝支部新年会 服部副会長出席  
 24日(土) 世田谷支部新年会 大山会長出席  
 25日(日) 埼玉県支部新年会 大山会長出席  
 26日(月) 学術部委員会(企画会議)  
 28日(水) 学術部委員会(運営委員会)  
 30日(金) 浅草・下谷支部合同新年賀詞交歓会  
 大山会長出席  
 31日(土) 杉並支部新年会 宮地理事出席  
 2月2日(月) 学術部委員会(プログラム委員会)  
 4日(水) 第1回常任理事会  
 5日(木) 学術部委員会(研修委員会)  
 6日(金) 学術部委員会(運営委員会)  
 6日(金) 渉外部委員会  
 8日(日) 東海地域支部連合会役員連絡協議会  
 神谷副会長, 伊藤理事出席  
 8日(日) 滋賀県支部総会  
 学術講演会 講師・柴原孝彦教授(母校)  
 9日(月) 学術部委員会(運営委員会)  
 13日(金) 広報部委員会(会報企画)  
 17日(火) 学術部委員会(運営委員会)  
 20日(金) 情報部委員会  
 21日(土) 北多摩支部総会 大山会長出席  
 23日(月) 学術部委員会(企画会議)  
 24日(火) 保険部委員会  
 25日(水) 学術部委員会(研究部委員会)  
 25日(水) 厚生部委員会  
 26日(木) 学術部委員会(運営委員会)  
 27日(金) 学術部委員会(運営委員会)  
 3月2日(月) 学術部委員会(運営委員会)  
 3日(火) 名簿作成委員会  
 3日(火) 学術部委員会(運営委員会)  
 4日(水) 学術部委員会(プログラム委員会)  
 7日(土) 青森県支部総会 柳副会長出席  
 学術講演会 講師・阿部伸一准教授(母校)  
 7日(土) 群馬県支部総会 服部副会長出席  
 9日(月) 学術部委員会(運営委員会)  
 11日(水) 第2回常任理事会  
 12日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 都道府県歯  
 会長と同窓会役員との懇談会  
 13日(金) 広報部委員会(会報編集)  
 13日(金) 名簿作成委員会  
 13日(金) 渉外部委員会  
 13日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式  
 大山会長出席  
 16日(月) 情報部委員会  
 18日(水) 六歯科大学歯学部校友会同窓会懇話会  
 大山会長, 関専務理事, 鳴神囑託出席  
 23日(月) 学術部委員会(企画会議)  
 24日(火) 新入会員オリエンテーション  
 24日(火) 学術部委員会(運営委員会)  
 25日(水) 東京歯科大学第114回卒業証書・学位記  
 授与式 大山会長出席  
 26日(木) 学術部委員会(運営委員会)  
 27日(金) 学術部委員会(将来像検討委員会B)  
 29日(日) 三重県支部総会 神谷副会長出席  
 30日(月) 学術部委員会(研究部委員会)  
 30日(月) 事業等検討特別委員会  
 4月1日(水) 学術部委員会(運営委員会)  
 2日(木) 学術部委員会(運営委員会)  
 3日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)

- 3日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式  
片倉副会長出席
- 4日(土) 山形県支部総会 宮地理事出席  
学術講演会 講師・奥田克爾名誉教授  
(母校)
- 6日(月) 東京歯科大学入学式 大山会長出席
- 6日(月) 会則等検討委員会
- 7日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
- 8日(水) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会
- 9日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
- 11日(土) 第2回理事会
- 13日(月) 情報部委員会
- 13日(月) 広報部委員会 (会報企画)
- 13日(月) 名簿作成委員会
- 15日(水) 総務部・会計部合同委員会
- 16日(木) 厚生部委員会
- 17日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
- 18日(土) 宮城県支部総会 服部副会長出席  
学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)
- 18日(土) TDC 卒後研修セミナー開講式  
大山会長, 関専務理事, 中島理事出席  
〔臨床実技セミナー (No.1 MTM 基礎  
コース～明日から使える MTM～)〕
- 19日(日) TDC 卒後研修セミナー〔臨床実技セ  
ミナー (No.1 MTM 基礎コース～明日か  
ら使える MTM～)〕
- 19日(日) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会準  
備会 宮地理事出席
- 21日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
- 22日(水) 監査会
- 23日(木) 総務部委員会
- 24日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
- 25日(土) 事業等検討特別委員会
- 27日(月) 学術部委員会 (企画会議)
- 28日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
- 28日(火) 保険部委員会
- 5月1日(金) 総務部委員会
- 9日(土) 四国地域支部連合会総会 (香川県支部担  
当) 大山会長, 久保田理事出席  
学術講演会 講師・二階堂雅彦氏 (東京  
都開業)
- 11日(月) 広報部委員会 (会報編集)
- 11日(月) 名簿作成委員会
- 12日(火) 会則等検討委員会
- 12日(火) 学術部委員会 (研究部委員会)
- 13日(水) 第3回常任理事会
- 15日(金) 学術部委員会 (プログラム委員会)
- 16日(土) 秋田県支部総会 柳副会長出席  
学術講演会 講師・久保周平講師(母校)
- 18日(月) 情報部委員会
- 18日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
- 19日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
- 20日(水) 千代田支部学術講演会 講師・阿部二郎  
氏 (東京都開業)
- 20日(水) 渋谷支部総会 白井理事出席
- 21日(木) 総務部委員会
- 22日(金) 学術部委員会 (プログラム委員会)
- 23日(土) 学術部委員会 (運営委員会)
- 24日(日) TDC 卒後研修セミナー〔臨床実技セ  
ミナー (No.2 新素材, 歯冠修復の新たな潮  
流～メタルフリー修復を臨床にとり入れ  
よう～)〕
- 25日(月) 学術部委員会 (企画会議)
- 26日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
- 28日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
- 28日(木) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会
- 30日(土) 中国地域支部連合会総会 (山口県支部担  
当)  
大山会長, 安田理事, 原監事出席  
学術講演会 講師・中川寛一教授(母校)
- 6月1日(月) 事業等検討特別委員会
- 2日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
- 3日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
- 5日(金) 渉外部委員会
- 8日(月) 学術部委員会 (将来像検討委員会)
- 10日(水) 第4回常任理事会
- 11日(木) 広報部委員会 (会報企画)
- 11日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
- 12日(金) 学術部委員会 (将来像検討委員会B)
- 12日(金) 母校創立120周年記念事業学長座談会  
大山会長, 関専務理事出席
- 13日(土) 九州地域支部連合会支部長会  
江崎副会長, 濱田理事出席
- 13日(土) 川崎支部学術講演会 講師・矢島安朝教  
授 (母校)
- 15日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
- 17日(水) 会則等検討特別委員会
- 18日(木) 学術部委員会 (プログラム委員会)
- 19日(金) 情報部委員会
- 20日(土) 学術部委員会 (運営委員会)
- 21日(日) TDC 卒後研修セミナー〔臨床実技セ  
ミナー (No.3 全身管理と偶発症に強くなろ  
う)〕
- 22日(月) 学術部委員会 (企画会議)
- 23日(火) 保険部委員会
- 24日(水) 学術部委員会 (研究部委員会)
- 25日(木) 厚生部委員会
- 26日(金) 事業等検討特別委員会
- 27日(土) 福島県支部総会
- 27日(土) 東北地域支部連合会総会 (福島県支部担  
当) 大山会長出席, 岩沼理事出席  
学術講演会 講師・福田謙一准教授 (母

- 校)
- 27日(土) 新潟県支部総会 片倉副会長出席  
学術講演会 講師・片倉 朗准教授(母校)
- 30日(火) 学術部委員会(運営委員会)
- 7月1日(水) 学術部委員会(運営委員会)
- 7日(火) 学術部委員会(企画会議)
- 8日(水) 第5回常任理事会
- 10日(金) 広報部委員会(会報編集)
- 11日(土) 北海道地域支部連合会総会(小樽支部担当)  
大山会長, 柳副会長, 戸田理事出席  
卒後研修会 講師・森田正純先生(神奈川県開業)
- 11日(土) 群馬県支部学術講演会 講師・櫻井 薫教授(母校)
- 11日(土) 東京医科歯科大学同窓会長・西村 誠先生の叙勲受章を祝う会 服部副会長出席
- 11日(土) 学術部委員会(運営委員会)
- 12日(日) TDC 卒後研修セミナー〔基本技術セミナー(No.5 フラップ手術の基本~for beginners~)〕
- 12日(日) 埼玉県支部総会 関専務理事出席  
学術講演会 講師・福田謙一准教授(母校)
- 13日(月) 学術部委員会(研究部委員会)
- 14日(火) 学術部委員会(運営委員会)
- 15日(水) 東京地域支部連合会学術講演会 講師・重原 聡氏(神奈川県開業)
- 16日(木) 総務部委員会
- 17日(金) 渉外部委員会
- 21日(火) 情報部委員会
- 21日(火) 練馬支部学術講演会 講師・井出吉信教授(母校)
- 23日(木) 同窓会主催全国ゴルフ大会実行委員会
- 25日(土) 学術部委員会(全体委員会)  
大山会長, 関専務理事, 中島理事出席
- 25日(土) 福岡歯科大学創立30周年記念式典  
江崎副会長出席
- 25日(土) 鳥取県支部総会  
学術講演会 講師・石原和幸教授(母校)
- 27日(月) 学術部委員会(企画会議)
- 8月1日(土) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会宮地理事, 山本理事出席
- 4日(火) 金子学長ハイドリンク賞受賞記念祝賀会  
大山会長出席
- 5日(水) 会則等検討委員会
- 18日(火) 学術部委員会(運営委員会)
- 18日(火) 広報部委員会(会報企画)
- 19日(水) 学術部委員会(運営委員会)
- 21日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)
- 22日(土) 臨時理事会
- 24日(月) 学術部委員会(企画会議)
- 27日(木) 学術部委員会(運営委員会)
- 28日(金) 保険部委員会
- 28日(金) 渉外部委員会
- 29日(土) 信越地域支部連合会総会  
大山会長, 片倉副会長, 片桐理事出席  
学術講演会 講師・金子 讓教授(母校)
- 29日(土) 中信支部学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)
- 9月1日(火) 保険部委員会(全国社会保険指導者懇談会・懇親会)
- 2日(水) 学術部委員会(研修委員会)
- 5日(土) 関東地域支部連合会総会(群馬県支部担当)  
大山会長, 関専務理事, 井原理事出席  
学術講演会 講師・濱根寿彦氏(県立ぐんま天文台観測普及研究係主幹)
- 5日(土) 学術部委員会(運営委員会)
- 6日(日) TDC 卒後研修セミナー〔臨床実技セミナー(No.4 根管形成法・根管充填法の基本と応用~根管治療の新しい3S(Safety Speedy Surely)〕〕
- 6日(日) 東海地域支部連合会総会  
大山会長, 神谷副会長, 伊藤理事出席  
学術講演会 講師・一戸達也教授(母校)
- 6日(日) 千葉県支部学術講演会 講師・矢崎秀昭氏(東京都開業)
- 10日(木) 第6回常任理事会
- 10日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 県歯会長と同窓会役員との懇談会懇親会
- 11日(金) 広報部委員会(会報編集)
- 11日(金) 学術部委員会(運営委員会)
- 11日(金) 渉外部委員会
- 12日(土) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校創立60周年記念式典・祝賀会  
服部副会長出席
- 14日(月) 学術部委員会(将来像検討委員会)
- 17日(木) 第37回同窓会主催全国ゴルフ大会(茨城県大利根カントリークラブ)
- 18日(金) 情報部委員会
- 24日(木) 学術部委員会(研究部委員会)
- 25日(金) 学術部委員会(運営委員会)
- 26日(土) 地域支部連合会会長と同窓会役員との懇談会
- 28日(月) 学術部委員会(企画会議)
- 29日(火) 会則等検討委員会

平成20年10月1日より平成21年9月30日までに逝去された会員は次のとおりです。

(敬称略)

横須賀鎌倉	西口定彦	城東	斉藤孝正	岡山	田島太郎	横浜中央	吉田ジュリー
秋田	森山勇一郎	北多摩	大津二郎	宮城	小野寺勇往	埼玉	吉住典也
麻布赤坂	白石立夫	岡山	飯田忠男	北多摩	櫻井正	宮崎	岩田和久
大阪	竹村進	三重	杉山幸人	広島	藤本調太郎	杉並	菊地原重郎
兵庫	塩見正孝	群馬	大川襄二	新宿	北原祐佐	千葉	平野英男
静岡	高木昭	板橋	鈴木一志	三重	伊藤武利	本郷	佐藤晃一
札幌	杉山忠憲	静岡	森田博道	岡山	吉田光宏	福岡	伊藤清水
杉並	小菅三喜雄	栃木	井上純一郎	兵庫	坂越實	青森	明本康正
十勝	山口和夫	愛知	山田二郎	北多摩	佐藤徹一郎	兵庫	難波清泰
静岡	宇佐美昭夫	南信	鮎澤英齡	新潟	佐藤貞	福井	岡田太一
豊島	斉藤顕	静岡	続清典	愛知	瀧義胤	山梨	川口正雄
愛知	井本雅洋	熊本	帆足速郎	千葉	亀田実	大森	山田仲人
岐阜	高木重雄	芝	織家勝	中信	太田啓次	富山	松島正康
墨田	岩淵健治	千葉	川手俊	福岡	梶原康人	兵庫	小寺八郎
新宿	登内真	栃木	築瀬正	江戸川	宝田忠	品川	岩井重尊
杉並	木村吉太郎	新潟	黒岩潔	千葉	山崎博通	新宿	小沼四郎
福島	原雄一	横浜北部	三島平左衛門	山梨	布施照子	渋谷	小池千白
栃木	長井大	渋谷	高宮昌美	京橋	岩本初一	愛知	宮田静衛
福島	本田正宏	荒川	松本貴	青森	渡辺沙流	渋谷	村上雅紀
茨城	小竹俊夫	板橋	武田修三	板橋	古賀雄二	宮城	小関信
岐阜	永田晋	青森	小田嶋亮	埼玉	竹井正章	蒲田	佐藤知也
京橋	森島忍	石川	早稻田正紀	千葉	横山高	福井	古澤俊一郎
和歌山	前田週司	大塚	森山貴史	群馬	和田行一	愛知	小川法数
千葉	桜井邦中	愛知	不破篤	宮崎	岩田富久重	千葉	戸辺三千男
十勝	小林薫	世田谷	渡邊富士夫	川崎	一戸俊治	長崎	貝田昌幸
愛知	中川博史	青森	熊谷淳	愛知	伊東弘	兵庫	齋藤恭助
新潟	植木正	新潟	大溪良夫	神奈川西湘	福山美枝	横須賀鎌倉	明楽和雄
徳島	猪子壽一	鹿児島	児玉利徳	宮城	高見澤達夫	静岡	宇藤公雄
茨城	小島建一	千代田	小谷泰造	荒川	岡光人	福島	中條正敏
茨城	佐藤和夫	高知	坂本良作				

(届出順 以上 118名)

# 平成21年度東京歯科大学同窓会厚生部報告

(自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日)

1. 火災、災害による罹災会員に共済規程第6条第1項二号に基づき罹災共済金（見舞金）を贈呈した会員は次のとおりです。

神奈川相北支部 山口隆成氏（昭47卒） 火災により住宅被害

以上1名 平成20年12月17日贈呈

横浜西部支部 北村博文氏（昭44卒） 突風により診療所被害

以上1名 平成21年1月16日贈呈

山梨県支部 小川二男氏（昭36卒） 火災により住宅被害

以上1名 平成21年8月20日贈呈

以上3名

2. 共済規程第6条第1項一号に基づき弔慰金を贈呈した逝去会員は次のとおりです。

(敬称略)

城 東	齊 藤 孝 正	岡 山	田 島 太 郎	秋 田	森 山 勇 一 郎	北 多 摩	大 津 二 郎
宮 城	小野寺 勇 往	埼 玉	吉 住 典 也	岡 山	飯 田 忠 男	北 多 摩	櫻 井 正
宮 崎	岩 田 和 久	大 阪	竹 村 進	三 重	杉 山 幸 人	広 島	藤 本 調 太 郎
杉 並	菊 地 原 重 郎	兵 庫	塩 見 正 孝	群 馬	大 川 襄 二	新 宿	北 原 祐 佐
静 岡	高 木 昭	板 橋	鈴 木 一 志	三 重	伊 藤 武 利	本 郷	佐 藤 晃 一
札 幌	杉 山 忠 憲	静 岡	森 田 博 道	岡 山	吉 田 光 宏	福 岡	伊 藤 清 水
杉 並	小 菅 三 喜 雄	栃 木	井 上 純 一 郎	兵 庫	坂 越 實	青 森	明 本 康 正
十 勝	山 口 和 夫	愛 知	山 田 二 郎	北 多 摩	佐 藤 徹 一 郎	兵 庫	難 波 清 泰
静 岡	宇 佐 美 昭 夫	南 信	鮎 澤 英 齡	新 潟	佐 藤 貞	福 井	岡 田 太 一
豊 島	齊 藤 顕	静 岡	続 清 典	愛 知	瀧 義 胤	山 梨	川 口 正 雄
愛 知	井 本 雅 洋	熊 本	帆 足 速 郎	千 葉	亀 田 実	大 森	山 田 仲 人
岐 阜	高 木 重 雄	芝	織 家 勝	中 信	太 田 啓 次	富 山	松 島 正 康
墨 田	岩 淵 健 治	千 葉	川 手 俊	福 岡	梶 原 康 人	兵 庫	小 寺 八 郎
新 宿	登 内 真	栃 木	築 瀬 正	江 戸 川	宝 田 忠	品 川	岩 井 重 尊
杉 並	木 村 吉 太 郎	新 潟	黒 岩 潔	千 葉	山 崎 博 通	新 宿	小 沼 四 郎
福 島	原 雄 一	横 浜 北 部	三 島 平 左 衛 門	山 梨	布 施 照 子	渋 谷	小 池 千 白
栃 木	長 井 大	渋 谷	高 宮 昌 美	京 橋	岩 本 初 一	福 島	本 田 正 宏
荒 川	松 本 貴	青 森	渡 辺 沙 流	茨 城	小 竹 俊 夫	板 橋	武 田 修 三
板 橋	古 賀 雄 二	宮 城	小 関 信	岐 阜	永 田 晋	青 森	小 田 嶋 亮
埼 玉	竹 井 正 章	蒲 田	佐 藤 知 也	京 橋	森 島 忍	石 川	早 稲 田 正 紀
千 葉	横 山 嵩	福 井	古 澤 俊 一 郎	和 歌 山	前 田 週 司	大 学	森 山 貴 史
群 馬	和 田 行 一	愛 知	小 川 法 数	千 葉	桜 井 邦 中	愛 知	不 破 篤
宮 崎	岩 田 富 久 重	千 葉	戸 辺 三 千 男	十 勝	小 林 薫	世 田 谷	渡 邊 富 士 夫
川 崎	一 戸 俊 治	長 崎	貝 田 昌 幸	愛 知	中 川 博 史	青 森	熊 谷 淳
愛 知	伊 東 弘	兵 庫	齋 藤 恭 助	新 潟	植 木 正	新 潟	大 溪 良 夫
神 奈 川 西 湘	福 山 美 枝	横 須 賀 鎌 倉	明 楽 和 雄	徳 島	猪 子 壽 一	鹿 児 島	児 玉 利 徳
宮 城	高 見 澤 達 夫	静 岡	宇 藤 公 雄	茨 城	小 島 建 一	千 代 田	小 谷 泰 造
荒 川	岡 光 人	福 島	中 條 正 敏	茨 城	佐 藤 和 夫	高 知	坂 本 良 作

(届出順 以上 112名)

第1号議案

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
 経常部収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
 (至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
会 費	115,420,000	102,110,000	13,310,000	88.5	昭和40～42年度 1,200円× 6人 昭和43～47年度 1,700円× 12人 昭和48年度 3,200円× 2人 昭和49年度 3,500円× 2人 昭和50年度 6,000円× 2人 昭和51年度 7,000円× 3人 昭和52年度 8,000円× 3人 昭和53年度 8,000円× 3人 昭和54年度 8,000円× 3人 昭和55年度 10,000円× 3人 昭和56年度 10,000円× 3人 昭和57年度 10,000円× 3人 昭和58年度 12,000円× 5人 昭和59年度 12,000円× 4人 昭和60年度 12,000円× 4人 昭和61年度 12,000円× 5人 昭和62年度 12,000円× 5人 昭和63年度 14,000円× 7人 平成元年度 14,000円× 5人 平成2年度 14,000円× 4人 平成3年度 14,000円× 3人 平成4年度 14,000円× 2人 平成5年度 14,000円× 3人 平成6年度 14,000円× 9人 平成7年度 14,000円× 9人 平成8年度 14,000円× 6人 平成9年度 14,000円× 7人 平成10年度 14,000円× 10人 平成11年度 20,000円× 15人 平成11年度 6,000円× 0人 平成12年度 20,000円× 26人 平成13年度 20,000円× 29人 平成14年度 18,000円× 32人 平成15年度 18,000円× 48人 平成16年度 18,000円× 73人 平成17年度 18,000円× 160人 平成18年度 18,000円× 472人 平成19年度 18,000円× 1,213人 平成20年度 18,000円× 3,518人 平成18年度以前分 988人 16,952,000円 平成19年度分 1,213人 21,834,000円 平成20年度分 3,518人 63,324,000円 合 計 5,719人 102,110,000円
入 会 金	740,000	730,000	10,000	98.6	{ 新 卒 者 126人× 5,000 = 630,000 { 推 薦 会 員 2人× 50,000 = 100,000
雑 収 入	1,850,000	1,508,439	341,561	81.5	
前年度繰越金	14,000,000	33,121,086	△19,121,086	236.6	{ 三菱東京UFJ銀行普通預金 1,004,268 { 三菱東京UFJ銀行普通預金 28,103,613 { 三菱東京UFJ銀行定期預金 4,000,000 { ゆうちょ銀行通常貯金 13,205
合 計	132,010,000	137,469,525	△ 5,459,525	104.1	

## (支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
事 務 費	38,460,000	30,941,375	7,518,625	80.5	
給 与 費	26,160,000	20,501,194	5,658,806	78.4	事務職員
福 利 厚 生 費	230,000	50,715	179,285	22.1	役員等傷害保険
通 信 費	1,900,000	1,740,062	159,938	91.6	
印 刷 費	1,460,000	1,608,660	△ 148,660	110.2	
備 品 購 入 費	470,000	1,109,635	△ 639,635	236.1	
消 耗 品 費	470,000	564,250	△ 94,250	120.1	
集 金 手 数 料	5,200,000	3,445,900	1,754,100	66.3	
保 守 管 理 委 託 費	2,140,000	1,265,650	874,350	59.1	
雑 費	430,000	655,309	△ 225,309	152.4	
事 業 費	71,470,000	64,480,992	6,989,008	90.2	
旅 費 交 通 費	28,950,000	29,188,740	△ 238,740	100.8	
総 務 関 係 費	5,520,000	10,175,385	△ 4,655,385	184.3	総合政策費積立金会計へ平成19・20年度分繰入増
広 報 関 係 費	14,620,000	12,801,203	1,818,797	87.6	
渉 外 関 係 費	4,840,000	817,403	4,022,597	16.9	医政対策費等減
保 険 関 係 費	620,000	1,958,781	△ 1,338,781	315.9	
学 術 関 係 費	2,220,000	1,641,433	578,567	73.9	
厚 生 関 係 費	450,000	149,260	300,740	33.2	
情 報 関 係 費	900,000	233,070	666,930	25.9	
会 合 費	1,500,000	542,800	957,200	36.2	
交 際 費	8,910,000	4,135,625	4,774,375	46.4	会長交際費減
慶 弔 費	2,210,000	2,159,850	50,150	97.7	
雑 費	730,000	677,442	52,558	92.8	
会 議 費	2,800,000	3,605,863	△ 805,863	128.8	
役 員 会 費	100,000	125,085	△ 25,085	125.1	理事会6回・常任理事会5回
評 議 員 会 費・総 会 費	2,500,000	3,368,428	△ 868,428	134.7	平成20年11月22日開催
支 部 長 会 費	100,000	0	100,000	0.0	
雑 費	100,000	112,350	△ 12,350	112.4	
特別会計繰入金	3,840,000	7,585,000	△ 3,745,000	197.5	
同 窓 会 基 金	740,000	1,385,000	△ 645,000	187.2	特別会計へ平成19・20年度分繰入増
血 脇 記 念 基 金	100,000	200,000	△ 100,000	200.0	〃
名 簿 積 立 金	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	200.0	〃
退 職 積 立 金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	200.0	〃
予 備 費	15,440,000	0	15,440,000	0.0	
支 出 計	132,010,000	106,613,230	25,396,770	80.8	
次 年 度 繰 越 金	0	30,856,295	△30,856,295	0.0	{ 三菱東京UFJ銀行普通預金 1,569,727 三菱東京UFJ銀行普通預金 16,345,768 三菱東京UFJ銀行定期預金 4,000,000 ゆうちょ銀行通常貯金 8,940,800
合 計	132,010,000	137,469,525	△ 5,459,525	104.1	

第2号議案

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
同窓会基金収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
(至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	740,000	1,385,000	△ 645,000	187.2	經常部より繰入 平成19・20年度分 利息 { 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 779,296 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 12,000,000 みずほ信託銀行普通預金 57,358 みずほ信託銀行定期預金 12,150,000
雑 収 入	10,000	73,854	△ 63,854	738.5	
前年度繰越金	26,040,000	24,986,654	1,053,346	96.0	
合 計	26,790,000	26,445,508	344,492	98.7	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	26,790,000	26,445,508	344,492	98.7	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 2,203,884 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 12,000,000 みずほ信託銀行普通預金 91,624 みずほ信託銀行定期預金 12,150,000
合 計	26,790,000	26,445,508	344,492	98.7	

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
血脇記念基金収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
(至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	100,000	200,000	△ 100,000	200.0	經常部より繰入 平成19・20年度分 利息 { 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 503,790 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 4,000,000
雑 収 入	10,000	12,132	△ 2,132	121.3	
前年度繰越金	4,640,000	4,503,790	136,210	97.1	
合 計	4,750,000	4,715,922	34,078	99.3	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	4,750,000	4,715,922	34,078	99.3	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 715,922 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 4,000,000
合 計	4,750,000	4,715,922	34,078	99.3	

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
共済基金収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
(至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
共済負担金	26,000,000	24,821,500	1,178,500	95.5	昭和40年度～42年度 300円× 6人 昭和43年度～48年度 800円× 14人 昭和49年度～51年度 1,500円× 7人 昭和52年度～53年度 2,000円× 6人 昭和54年度～55年度 3,000円× 6人 昭和56年度～平成11年度 4,000円× 131人 平成12年度 4,000円× 27人 平成13年度 4,000円× 30人 平成14年度 4,000円× 32人 平成15年度 4,000円× 50人 平成16年度 4,000円× 76人 平成17年度 4,000円× 171人 平成18年度 4,000円× 492人 計 4,089,500円 1,048人 過年度分(平成18年度以前分)(1,048人) 4,089,500 過年度分(平成19年度分)(1,320人) 5,280,000 当年度分(平成20年度分) (3,863人)15,452,000 計 (6,231人)24,821,500
雑収入	20,000	378,876	△ 358,876	1894.4	利息
前年度繰越金	127,800,000	127,245,218	554,782	99.6	三菱東京 UFJ 銀行普通預金 9,579,511 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 114,000,000 みずほ信託銀行貸付信託 1,000,000 みずほ信託銀行金銭信託 215,707 みずほ信託銀行定期預金 2,450,000
合 計	153,820,000	152,445,594	1,374,406	99.1	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
共 済 金	26,000,000	24,380,000	1,620,000	93.8	弔慰共済金 23,600,000(@200,000×118件) 罹災共済金 780,000 岩手県中部地震 (@ 70,000×3件) 風水害 (@100,000×2件) 火災 (@ 70,000×1件) (@100,000×1件) (@200,000×1件)
事務費	220,000	110,928	109,072	50.4	弔慰共済金・罹災共済金送料等
予備費	5,800,000	0	5,800,000	0.0	
給付準備金	121,800,000	0	121,800,000	0.0	
次年度繰越金	0	127,954,666	△127,954,666	0.0	三菱東京 UFJ 銀行普通預金 10,280,743 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 114,000,000 みずほ信託銀行普通預金 223,923 みずほ信託銀行定期預金 3,450,000
合 計	153,820,000	152,445,594	1,374,406	99.1	

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
名簿積立金収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
(至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000	200.0	経常部より繰入 平成19・20年度分 利息
雑 収 入	10,000	25,776	△ 15,776	257.8	
前年度繰越金	12,290,000	9,611,043	2,678,957	78.2	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 2,611,043 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 7,000,000
合 計	14,300,000	13,636,819	663,181	95.4	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	14,300,000	13,636,819	663,181	95.4	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 6,636,819 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 7,000,000
合 計	14,300,000	13,636,819	663,181	95.4	

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
退職積立金収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
(至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰 入 金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	200.0	経常部より繰入 平成19・20年度分 利息
雑 収 入	10,000	10,074	△ 74	100.7	
前年度繰越金	8,220,000	7,184,419	1,035,581	87.4	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 1,184,419 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 6,000,000
合 計	9,230,000	9,194,493	35,507	99.6	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
退 職 金	0	8,537,000	△ 8,537,000	0.0	退職者2名 { 事務長 4,148,000 { 事務職員 4,389,000
次年度繰越金	9,230,000	657,493	8,572,507	7.1	三菱東京 UFJ 銀行普通預金 657,493
合 計	9,230,000	9,194,493	35,507	99.6	

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
 卒後研修セミナー収支決算書

(自 平成20年1月1日)  
 (至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
受 講 料	13,760,000	15,945,000	△ 2,185,000	115.9	1. 実技セミナー No.1 「徹底的に SRP」 1,944,000 ①〔受講割引なし〕 一般 50,000×12人 600,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 一般 48,000×28人 1,344,000 (1日間) No.2 「見直そう口腔外科疾患の診断と基本手技」 1,956,000 ①〔受講割引なし〕 一般 50,000×18人 900,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 一般 48,000×22人 1,056,000 (1日間) No.3 「実践 MTM ステップアップコース」 3,994,000 ①〔受講割引なし〕 一般 90,000×17人 1,530,000 (2日間) ②〔受講割引あり〕 一般 88,000×28人 2,464,000 (2日間) No.4 「新素材、歯冠修復の新たな潮流」 1,942,000 ①〔受講割引なし〕 一般 50,000×11人 550,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 一般 48,000×29人 1,392,000 (1日間) No.5 「導入しよう！インプラント治療」 4,468,000 ①〔受講割引なし〕 一般 150,000×14人 2,100,000 (2日間) ②〔受講割引あり〕 一般 148,000×16人 2,368,000 (2日間) 2. ベーシックセミナー No.6 「パーシャルデンチャーをもう一度学ぼう」 1,284,000 ①〔受講割引なし〕 一般 20,000×39人 780,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 一般 18,000×28人 504,000 (1日間) 3. 卒研フォーラム No.7 「患者さんの健康を支援する」 357,000 ①〔受講割引なし〕 歯科医師 10,000×8人 80,000 (1日間) その他 8,000×19人 152,000 (1日間) ②〔受講割引あり〕 歯科医師 6,000×3人 18,000 (1日間) 歯科医師 4,000×5人 20,000 (1日間) その他 3,000×29人 87,000 (1日間) 合 計 15,945,000
雑 収 入	20,000	358,576	△ 338,576	1792.9	テキスト代 325,000 他利息
繰 入 金	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
前年度繰越金	5,000,000	6,311,024	△ 1,311,024	126.2	三菱東京 UFJ 銀行普通預金 6,311,024
合 計	19,780,000	22,614,600	△ 2,834,600	114.3	

## (支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要	
	円	円	円	%		
事 業 費	18,200,000	16,406,240	1,793,760	90.1		
講師謝礼費	3,800,000	2,278,500	1,521,500	60.0	テキスト作成費等	
講師旅費	1,500,000	1,620,360	△ 120,360	108.0		
資料作成費	1,100,000	2,441,074	△ 1,341,074	221.9		
実習器材費	4,500,000	2,878,598	1,621,402	64.0		
役 務 費	1,700,000	2,018,200	△ 318,200	118.7		
設 営 費	1,600,000	3,603,876	△ 2,003,876	225.2		
印刷広報費	800,000	837,577	△ 37,577	104.7		封筒, 葉書印刷
受講証関係費	100,000	0	100,000	0.0		
広 告 費	1,500,000	268,800	1,231,200	17.9		
渉 外 費	600,000	59,255	540,745	9.9		
会 場 費	1,000,000	400,000	600,000	40.0		
事 務 費	800,000	268,624	531,376	33.6		
通信運搬費	600,000	216,234	383,766	36.0	振込手数料他	
消耗品費	100,000	48,575	51,425	48.6		
雑 費	100,000	3,815	96,185	3.8		
公 租 公 課	480,000	397,200	82,800	82.8	消費税	
予 備 費	300,000	0	300,000	0.0		
小 計	19,780,000	17,072,064	2,707,936	86.3		
次年度繰越金	0	5,542,536	△ 5,542,536	0.0	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 48,000 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 5,494,536	
合 計	19,780,000	22,614,600	△ 2,834,600	114.3		

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
**卒業研修セミナー積立金収支決算書**

(自 平成20年1月1日)  
 (至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
雑 収 入	10,000	59,610	△ 49,610	596.1	利息
前年度繰越金	20,400,000	20,423,846	△ 23,846	100.1	{ みずほ信託銀行普通預金 1,423,846 { みずほ信託銀行定期預金 19,000,000 ① 9,000,000(満期日20.12.18) ② 10,000,000(満期日20.12.18)
合 計	20,410,000	20,483,456	△ 73,456	100.4	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰入金支出	1,000,000	0	1,000,000	0.0	
次年度繰越金	19,410,000	20,483,456	△ 1,073,456	105.5	{ みずほ信託銀行普通預金 2,483,456 { みずほ信託銀行定期預金 18,000,000 ① 17,200,000(満期日21.12.18) ② 400,000(満期日21.12.18) ③ 400,000(満期日21.12.18)
合 計	20,410,000	20,483,456	△ 73,456	100.4	

**第4号議案**

平成20年度 東京歯科大学同窓会  
**総合政策費積立金会計収支決算書**

(自 平成20年1月1日)  
 (至 平成20年12月31日)

(収入の部)

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
繰入金	5,000,000	10,000,000	△ 5,000,000	200.0	経常部より繰入 平成19・20年度分
雑 収 入	10,000	62,609	△ 52,609	626.1	利息
前年度繰越金	26,050,000	21,011,242	5,038,758	80.7	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 6,011,242 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 15,000,000
合 計	31,060,000	31,073,851	△ 13,851	100.0	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	対 比	摘 要
次年度繰越金	31,060,000	31,073,851	△ 13,851	100.0	{ 三菱東京 UFJ 銀行普通預金 16,073,851 { 三菱東京 UFJ 銀行定期預金 15,000,000
合 計	31,060,000	31,073,851	△ 13,851	100.0	

## 財 産 目 録

平成20年12月31日

## 1. 備 品

## 機 器 備 品

品 目	数量	購入年月	購入価格	備 考
1 収納戸棚	3	H 9. 10	370, 650	
2 書類保管庫	3	H13. 4	370, 482	
3 パソコン MAC i Book	1	H14. 8	180, 390	MAC
4 パソコン IBM A 22	1	H14. 8	195, 720	WIN
5 プロジェクター Epson	1	H14. 8	338, 100	
6 ビデオカメラ	1	H19. 12	138, 906	
7 プロジェクター	1	H19. 12	279, 800	
8 パソコン a c e r	4	H20. 3	798, 000	WIN
9 書類保管庫 A 4 W-IS	1	H20. 9	115, 815	
計 9 品 目	16		2, 787, 863	

## 電 話 加 入 権

品 目	数量	購入年月	購入価格	備 考
1 電話加入権	2回線	H 2. 3	149, 968	@74, 984
2 電話加入権	1回線	H15. 8	76, 440	
計			226, 408	

## 消 耗 備 品

品 目	数 量	購入価格	備 考
1 冷蔵庫 他	53点	2, 913, 816	

2. 普通預金, 定期預金, 通常預金

会計区分	種類	預金残高	取引銀行
(1) 経常部	普通預金	1,569,727	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	〃	16,345,768	〃 〃
	定期預金	4,000,000	〃 〃
	通常貯金	8,940,800	ゆうちょ銀行 神田三崎町郵便局
計		30,856,295	
(2) 共済基金	普通預金	10,280,743	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	114,000,000	〃 〃
	普通預金	223,923	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	3,450,000	〃 〃
計		127,954,666	
(3) 同窓会基金	普通預金	2,203,884	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	12,000,000	〃 〃
	普通預金	91,624	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	12,150,000	〃 〃
計		26,445,508	
(4) 血脇記念基金	普通預金	715,922	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	4,000,000	〃 〃
計		4,715,922	
(5) 名簿積立金	普通預金	6,636,819	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	7,000,000	〃 〃
計		13,636,819	
(6) 退職積立金	普通預金	657,493	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	計	657,493	
(7) 卒後研修セミナー	普通預金	48,000	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	〃	5,494,536	〃 〃
計		5,542,536	
(8) 卒後研修セミナー積立金	普通預金	2,483,456	みずほ信託銀行 本店
	定期預金	18,000,000	〃 〃
計		20,483,456	
(9) 総合政策費積立金	普通預金	16,073,851	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
	定期預金	15,000,000	〃 〃
計		31,073,851	
合計		261,366,546	

# 監 査 報 告

平成20年度東京歯科大学同窓会業務運営状況及び経常部収支決算書，特別会計収支決算書（即ち，同窓会基金決算，血脇記念基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算），卒後研修セミナー収支決算書，卒後研修セミナー積立金収支決算書，総合政策費積立金会計収支決算書，及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成21年4月22日

常任監事 浅野 薫 之 ⑩  
監 事 原 武 仁 ⑩  
監 事 平 井 義 人 ⑩

## 第6号議案

### 財産（備品）廃棄処分目録

1. パソコン IBM A 22 1台

平成14年8月に購入，年数経過と共に故障が多くなり使用に耐えられないため。

## 第7号議案

### 東京歯科大学同窓会会則一部変更を 求むるの件

1. 第5条2項（会員）「毎年1月1日現在において75歳に達し」とあるを「12月31日」，当該年度を次年度に変更する。
2. 第44条二「役員選挙」を「会長，監事の選出」に変更する。
3. 第36条（連合会総会）「地域支部連合会総会は，毎年1回開催する」を「原則として毎年1回・・・」に改める。

## 第8号議案

### 東京歯科大学同窓会共済規程一部変 更を求むるの件

1. 第3条「毎年1月1日現在において80歳に達し」とあるを「12月31日」，当該年度を次年度に変更する。

## 第9号議案

# 平成22年度事業計画

### 総務部

1. 諸会合の準備・調整並びに運営を行う。
2. 会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
3. 母校、父兄会、学生との連携を図る。
4. 会則等の見直しを行う。
5. 母校創立120周年記念事業及び大学移転に協力する。
6. 支部との情報交換の充実を図る。

### 渉外部

1. 各歯科大学同窓会、校友会との交流を図り、緊密なる友好を深める。
2. 会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。
3. 母校との連携のもとに国、公、私的機関等と協力し、人材の確保、育成に努める。

### 学術部

1. TDC 卒後セミナーを開催する。
2. 地域支部連合会、支部における講演会、研修活動を支援する。
3. 各大学の同窓会学術担当者と情報交換を行う。
4. 学術情報の収集、分析および提供を図る。
5. 若手同窓会員の研修を支援する。
6. 広い視野で学術情報を収集・分析・整理する。

### 広報部

1. 会報を年6回発行し、会員との情報交換を図る。
2. 新入会員名簿、会員住所変更訂正版名簿を出版する。

### 厚生部

1. 共済制度の健全なる運営を行う。
2. 会員厚生事業の充実を図る。
3. 同窓会主催全国ゴルフ大会を開催する。
4. 委嘱医制度の検討を行う。

### 保険部

1. 医療保険制度等の調査、研究を行う。
2. 医療保険情報等の提供を行う。
3. 医療保険関係者等との交流を行う。

### 情報部

1. 母校、支部、クラス会および会員の情報を収集し、会員に伝達する。
2. 同窓会各部との連携を推進し、同窓会事業の充実と効率化に協力する。
3. ホームページの維持管理を行う。
4. 会員名簿および会費管理に協力する。
5. 同窓会事務 OA 化の環境整備に協力する。

第10号議案

平成22年度入会金について

平成22年度 入会金現行通り本学出身の会員5,000円, 推薦会員50,000円

第11号議案

平成22年度会費について

平成22年度 会費現行通り 18,000円

第12号議案

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
経常部収支予算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

(収入の部)

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	前年度との 比 較	対 比	摘 要
	円	円	円	%	
会 費	109,000,000	105,780,000	3,220,000	97.0	過年度分(平成20年度以前分) 914人 14,610,000 過年度分(平成21年度分) 1,285人 23,130,000 当年度分(平成22年度分) 3,780人 68,040,000 合計 5,979人 105,780,000
入 会 金	740,000	740,000	0	100.0	{ 新卒者 5,000 128人 その他 50,000 2人
雑 収 入	1,850,000	1,850,000	0	100.0	会報広告料他
収 入 計	111,590,000	108,370,000	3,220,000	97.1	
前年度繰越金	19,000,000	20,900,000	△ 1,900,000	110.0	
合 計	130,590,000	129,270,000	1,320,000	99.0	

## (支出の部)

科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	前年度との 較 比	対 比	摘 要
事 務 費	38,870,000 <sup>円</sup>	33,790,000 <sup>円</sup>	5,080,000 <sup>円</sup>	86.9 <sup>%</sup>	
給 与 費	23,310,000	19,440,000	3,870,000	83.4	事務職員 役員等傷害保険
福 利 厚 生 費	270,000	270,000	0	100.0	
地 代 家 賃	3,600,000	3,600,000	0	100.0	
通 信 費	1,760,000	1,790,000	△ 30,000	101.7	
印 刷 費	1,460,000	1,460,000	0	100.0	
備 品 購 入 費	500,000	600,000	△ 100,000	120.0	
消 耗 品 費	470,000	400,000	70,000	85.1	
集 金 手 数 料	4,590,000	4,770,000	△ 180,000	103.9	
保 守 管 理 委 託 費	2,460,000	1,190,000	1,270,000	48.4	
雑 費	450,000	270,000	180,000	60.0	
事 業 費	66,630,000	83,940,000	△17,310,000	126.0	
旅 費 交 通 費	30,180,000	27,430,000	2,750,000	90.9	時局対策費積立金他  保険関係冊子作成  退任役員記念品他
総 務 関 係 費	1,520,000	21,400,000	△19,880,000	1407.9	
広 報 関 係 費	14,460,000	13,530,000	930,000	93.6	
渉 外 関 係 費	2,940,000	3,010,000	△ 70,000	102.4	
保 険 関 係 費	620,000	1,920,000	△ 1,300,000	309.7	
学 術 関 係 費	2,720,000	3,660,000	△ 940,000	134.6	
厚 生 関 係 費	450,000	250,000	200,000	55.6	
情 報 関 係 費	900,000	900,000	0	100.0	
会 合 費	1,500,000	1,000,000	500,000	66.7	
交 際 費	8,810,000	7,630,000	1,180,000	86.6	
慶 弔 費	1,930,000	1,930,000	0	100.0	
雑 費	600,000	1,280,000	△ 680,000	213.3	
会 議 費	3,050,000	2,850,000	200,000	93.4	
役 員 会 費	100,000	100,000	0	100.0	会議費
評 議 員 会 費	1,700,000	1,600,000	100,000	94.1	
総 会 費	800,000	700,000	100,000	87.5	
支 部 長 会 費	100,000	100,000	0	100.0	
雑 費	350,000	350,000	0	100.0	
特別会計繰入金	4,570,000	3,840,000	730,000	84.0	
同 窓 会 基 金	740,000	740,000	0	100.0	
血 脇 記 念 基 金	100,000	100,000	0	100.0	
名 簿 積 立 金	2,730,000	2,000,000	730,000	73.3	
退 職 積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0	
支 出 計	113,120,000	124,420,000	△11,300,000	110.0	
予 備 費	17,470,000	4,850,000	12,620,000	27.8	
合 計	130,590,000	129,270,000	1,320,000	99.0	

第13号議案

平成22年度共済負担金について

平成22年度 共済負担金現行通り 3,000円

第14号議案

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
同窓会基金収支予算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	円 740,000	円 740,000	経常部より				
雑 収 入	10,000	50,000	利息他	次 年 度 金	円 27,540,000	円 28,330,000	
前 年 度 金	26,790,000	27,540,000					
合 計	27,540,000	28,330,000		合 計	27,540,000	28,330,000	

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
血脇記念基金収支予算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	円 100,000	円 100,000	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	次 年 度 金	円 4,860,000	円 4,970,000	
前 年 度 金	4,750,000	4,860,000					
合 計	4,860,000	4,970,000		合 計	4,860,000	4,970,000	

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
共 済 基 金 収 支 予 算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

(収入の部)

科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要																
共 済 負 担 金	19,650,000	19,600,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">過年度分(平成20年度以前分)</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">927人</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">3,460,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">過年度分(平成21年度分)</td> <td style="text-align: right;">1,380人 4,140,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">当年度分(平成22年度分)</td> <td style="text-align: right;">4,000人 12,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td style="text-align: right;">6,307人 19,600,000</td> </tr> </table>		過年度分(平成20年度以前分)	927人	3,460,000			過年度分(平成21年度分)	1,380人 4,140,000			当年度分(平成22年度分)	4,000人 12,000,000			合 計	6,307人 19,600,000
	過年度分(平成20年度以前分)	927人	3,460,000																
		過年度分(平成21年度分)	1,380人 4,140,000																
		当年度分(平成22年度分)	4,000人 12,000,000																
		合 計	6,307人 19,600,000																
雑 収 入	20,000	20,000	利息																
収 入 計	19,670,000	19,620,000																	
前年度繰越金	121,800,000	94,000,000																	
合 計	141,470,000	113,620,000																	

(支出の部)

科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要																
共 済 金	19,750,000	19,200,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">弔慰共済金</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">12,000,000</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">(100,000×120件)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">罹災共済金</td> <td style="text-align: right;">2,000,000 (火災・風水害・地震)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">80歳祝金</td> <td style="text-align: right;">5,000,000 100人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">100歳祝金</td> <td style="text-align: right;">200,000 4人</td> </tr> </table>		弔慰共済金	12,000,000	(100,000×120件)			罹災共済金	2,000,000 (火災・風水害・地震)			80歳祝金	5,000,000 100人			100歳祝金	200,000 4人
	弔慰共済金	12,000,000	(100,000×120件)																
		罹災共済金	2,000,000 (火災・風水害・地震)																
		80歳祝金	5,000,000 100人																
		100歳祝金	200,000 4人																
事 務 費	220,000	750,000	弔慰金振込手数料, 祝金送料他																
予 備 費	6,000,000	6,000,000																	
給 付 準 備 金	115,500,000	87,670,000																	
支 出 計	141,470,000	113,620,000																	
合 計	141,470,000	113,620,000																	

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
名簿積立金収支予算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	2,730,000 <sup>円</sup>	2,000,000 <sup>円</sup>	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	通 信 費	1,230,000	0	
				印 刷 費	15,710,000	0	
				雑 費	100,000	0	
前 年 度 繰 越 金	14,300,000	0		次 年 度 繰 越 金	0	2,010,000	
合 計	17,040,000	2,010,000		合 計	17,040,000	2,010,000	

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
退職積立金収支予算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	1,000,000 <sup>円</sup>	1,000,000 <sup>円</sup>	経常部より				
雑 収 入	10,000	10,000	利息	次 年 度 繰 越 金	1,670,000	2,680,000	
前 年 度 繰 越 金	660,000	1,670,000					
合 計	1,670,000	2,680,000		合 計	1,670,000	2,680,000	

第15号議案

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
卒後研修セミナー収支予算

(自 平成22年1月1日)  
(至 平成22年12月31日)

(収入の部)

科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
	円	円	
受 講 料	10,870,000	11,000,000	1. 歯内療法 50,000×32名=1,600,000 2. MI 50,000×32名=1,600,000 3. インプラント 130,000×24名=3,120,000 4. 床矯正 70,000×40名=2,800,000 5. SPT 15,000×64名= 960,000 6. ベーシック 15,000×48名= 720,000 7. 卒研フォーラム 10,000×20名= 200,000
雑 収 入	20,000	20,000	利息, その他
繰 入 金	400,000	400,000	卒後研修セミナー積立金会計より繰入
収 入 計	11,290,000	11,420,000	
前年度繰越金	5,000,000	5,000,000	
合 計	16,290,000	16,420,000	

## (支出の部)

科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
事 業 費	14,900,000 <sup>円</sup>	15,100,000 <sup>円</sup>	
講師謝礼費	3,300,000	3,300,000	1. 講師 2,500,000 2. 実習講師 800,000
講師旅費	1,500,000	1,200,000	講師旅費交通費, 宿泊費, 委員旅費交通費
資料作成費	900,000	900,000	1. 実習用資料 500,000 2. 講演用資料 400,000
実習器材費	4,000,000	4,200,000	1. 実習用器材 4,000,000 2. 講演用器材 200,000
役 務 費	1,400,000	1,500,000	1. セミナー役務 600,000 2. 運営役務 340,000 3. 実習インストラクター 330,000 4. 症例発表 230,000
設 営 費	1,200,000	1,400,000	1. スライド関連費 250,000 2. 運営資材費 500,000 3. 演者・委員昼食 400,000 4. 消耗品費 250,000
印刷広報費	700,000	700,000	研修用プログラム印刷他
受講証関係費	100,000	100,000	
広 告 費	1,000,000	1,000,000	1. 雑誌広告 800,000 2. DM料 200,000
渉 外 費	400,000	400,000	講師打合せ会費他
会 場 費	400,000	400,000	
事 務 費	700,000	700,000	
通信運搬費	500,000	500,000	プログラム発送・セミナー案内ハガキ他
消 耗 品 費	100,000	100,000	
雑 費	100,000	100,000	
公 租 公 課	480,000	400,000	消費税
小 計	16,080,000	16,200,000	
予 備 費	210,000	220,000	
合 計	16,290,000	16,420,000	

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
**卒業研修セミナー積立金収支予算**

(自 平成22年1月1日)  
 (至 平成22年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
雑 収 入	10,000	10,000	利息	繰 入 金 出 支	400,000	400,000	卒業研修セミナー繰入
前 年 度 繰 越 金	19,410,000	19,020,000		次 年 度 繰 越 金	19,020,000	18,630,000	
合 計	19,420,000	19,030,000		合 計	19,420,000	19,030,000	

**第16号議案**

平成22年度 東京歯科大学同窓会  
**時局対策費積立金会計収支予算**

(自 平成22年1月1日)  
 (至 平成22年12月31日)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要	科 目	平成21年度 予 算	平成22年度 予 算 案	摘 要
繰 入 金	1,000,000	20,000,000	経常部より		0	25,000,000	本学創立120周年記念誌同窓分負担として
雑 収 入	10,000	50,000	利息	協 力 金	0	25,000,000	
前 年 度 繰 越 金	31,060,000	32,070,000		次 年 度 繰 越 金	32,070,000	27,120,000	
合 計	32,070,000	52,120,000		合 計	32,070,000	52,120,000	

**第17号議案**

**役 員 改 選**

任期満了につき役員改選が提案された。議場より現会長・大山萬夫氏が次期会長に推挙され、満場一致で可決した。同様に監事3名も決定した。詳しくは3～5ページ。

## No.1 先達に学ぶ『開業医としての楽しみ』

3月7日(日) 卒研フォーラム

▶▶▶ 1955年、短期間の勤務医を経験して開業医になり早くも半世紀が過ぎました。その早さには信じられない思いですが、振り返ると10年ぐらいの単位で社会も自分の医院も目まぐるしく変化してきたことを感じます。この10年ほどを考えても、バブル崩壊に続く動乱期で多くの会社が離合集散しました。ビルの1階を占めていた銀行はすべて変わり、周辺部の新しいビルに移転する会社が続出しました。シャッターを下ろしたままの店こそないものの、飲食店も商店もコンビニやスーパー、カフェなどのチェーン店で埋めつくされ、街の様子はすっかり変わりました。リストラで退職する人は多数にのぼり、正社員は派遣社員に置き換わりました。ビルの中にも周辺にも顔見知りの人姿はなく、会話はコンビニ言葉ばかりです。ごく最近になると再開発という名の下に、われわれの医院と同年代のビルが次々と建て替えられて行きます。



金子一芳 先生

時代とともに患者さんやその問題点も変わりました。急速に入れ替わる新しい住民との接点は生まれず、気がつくとも古色蒼然たる歯科医院が一軒だけ残っているというのが現在の状態です。1990年から運用を始めたリコールシステムで、固定した患者さんは来院されていますが、そのほとんどが私と同世代の方ですからさながら老人クラブです。かつてはこちらが声をかけていた「お大事に！」という言葉は、いまは相互にかけあう言葉になっています。それでも半年か1年ごとに来院して頂けることはお互いに同窓会的な楽しみになっています。電車が大変、階段が辛いといわれながら、来てくださる患者さんのアポイントを見ることは何よりの楽しみですし、少しでも元気にしていただくお手伝いができれば、どんなボランティアに打ち込むよりやりがいのある仕事です。

歯科雑誌を見ていると「歯がなくなればインプラント。骨がなければ作ればよい」。そんな臨床が主流になったのかと思います。講習会やセミナーの案内もほとんどインプラント一色です。こんなものばかりを見せられると、そんなはずはない！と思いながらも、自信を無くしたり焦ったりしてしまいます。しかしどこにそんなケースが潜んでいるのでしょうか。日々来院される患者さんの口腔内は、むかしは想像もできなかったほどきれいになっています。「前歯金冠を巻いてくれ」とわれわれを悩ませた患者さんや無歯顎の患者さんはとうに消え、今度は「白い歯！白い歯！」の大コーラスです。長いようでも短かったようでもある50年、その中で何を大切にまもり、何を变えていかなければならないか、むずかしいが興味深い課題です。そんな話題を拾いながらお話しを組み立てたいと思っています。

(金子一芳 記)

▶▶▶ 講 師 ▶ 金子 一芳 (東京都・開業)

▶▶▶ 受 講 料 ▶ 同窓会員  
2010年セミナー申し込み者 無料  
その他 10,000円

▶▶▶ 定 員 ▶ 400名

▶▶▶ 時 間 ▶ 10:00~15:30

▶▶▶ 場 所 ▶ 全電通ホール  
東京都千代田区神田駿河台3-6  
全電通労働会館  
▶ 地下鉄千代田線『新御茶ノ水駅』下車  
(総評会館前出口・B-3)より徒歩約5分  
▶ 地下鉄丸の内線『淡路町駅』下車  
(出口・A-5)より徒歩約5分  
▶ 都営地下鉄新宿線『小川町駅』下車  
(至新宿駅より出口・A-7)より徒歩約5分  
▶ JR『御茶ノ水駅』下車  
(聖橋口出口)より徒歩約5分

